

砺波市民アンケート調査
報 告 書

平成 27 年 8 月

砺 波 市

目 次

I	調査の概要.....	1
1	調査目的.....	1
2	調査項目.....	1
3	調査対象.....	1
4	調査期間.....	1
5	調査方法.....	1
6	回収結果.....	1
7	報告書のみかた.....	1
II	調査回答者の属性.....	3
III	調査結果の概要.....	5
1	居住歴および転入の状況.....	5
2	砺波市の生活の満足度.....	11
3	砺波市での今後の居住意向.....	12
4	砺波市の良い点や魅力.....	14
5	砺波市で生活する上での課題.....	15
6	施策の満足度・重要度.....	16
7	重視すべき施策.....	18
8	人口減少による影響.....	20
9	勤務状況.....	21
10	市の将来像.....	24
11	PRすべき地域資源.....	25
12	行財政運営の方向性.....	27
13	今後のまちづくり等に対する自由意見.....	30
14	施策の満足度と重要度.....	42

I 調査の概要

調査の概要

1 調査目的

砺波市在住者に日常生活の満足・不満や、今後のまちづくりや施策に対する意見や要望を調査することにより、総合計画の見直しおよび総合戦略策定に向けた基礎資料とすることを目的とする。

2 調査項目

- | | |
|-------------------|-----------------------|
| (1) 砺波市での居住歴 | (2) 砺波市の生活の満足度 |
| (3) 今後の砺波市での居留意向 | (4) 市の良い点及び課題 |
| (5) 施策に対する満足度・重要度 | (6) 力を入れるべき施策 |
| (7) 人口減少による問題 | (8) 通勤・通学状況 |
| (9) 目指すべき将来像 | (10) 活かすべき地域資源 |
| (11) 今後の行財政運営の考え方 | (12) 今後のまちづくりに対する自由意見 |

3 調査対象

砺波市在住の20歳以上の男女を対象に、住民基本台帳より2,000人を無作為抽出

4 調査期間

平成27年6月23日～7月6日

5 調査方法

郵送による配布を行い、回収方法は郵送によるものとインターネットによる回答を併用

6 回収結果

標本数	(A)	2,000
有効回収数	(B)	971
回収率	(B/A)	48.6%

7 報告書のみかた

- (1) 調査結果は百分率で表示しています。百分率は小数点以下第2位を四捨五入して算出していることから、合計値が100%にならない場合があります。
- (2) 1つの質問に対して2つ以上の回答を求めているものについて、百分率は回答数を本調査の総回答数で割った数値を表しています。
- (3) 図表中に [N] と記してあるのは、分類別各層の対象者総数を表しています。

Ⅱ 調査回答者の属性

調査回答者の属性

1 性別・年齢

	29歳以下	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳以上	計
男性	28 6.7	45 10.7	57 13.6	77 18.3	111 26.4	102 24.3	420 100.0
女性	32 5.8	57 10.3	99 18.0	84 15.2	132 24.0	147 26.7	551 100.0
計	60 6.2	102 10.5	156 16.1	161 16.6	243 25.0	249 25.6	971 100.0

2 配偶者の有無

	件数	%
未婚	107	11.0
既婚	718	73.9
離別・死別	125	12.9
無回答	21	2.2
計	971	100.0

3 家族構成

	件数	%
単身世帯	59	6.1
夫婦世帯	193	19.9
二世帯世帯(親と子)	396	40.8
三世帯世帯(親と子と孫)	293	30.2
その他	18	1.9
無回答	12	1.2
計	971	100.0

4 住まいの形態

	件数	%
持ち家(親等の所有する家を含む)	898	92.5
借家(アパート・マンション)	44	4.5
借家(戸建て)	4	0.4
社宅	5	0.5
市営住宅・公営住宅	10	1.0
その他	5	0.5
無回答	5	0.5
計	971	100.0

5 地区

	件数	%
出町	154	15.9
庄下	53	5.5
中野	37	3.8
五鹿屋	42	4.3
東野尻	49	5.0
鷹栖	57	5.9
若林	17	1.8
林	81	8.3
高波	37	3.8
油田	79	8.1
南般若	53	5.5
柳瀬	40	4.1
太田	31	3.2
般若	35	3.6
東般若	24	2.5
梅檀野	37	3.8
梅檀山	7	0.7
東山見	53	5.5
青島	43	4.4
雄神	17	1.8
種田	23	2.4
無回答	2	0.2
計	971	100.0

6 居住環境

	件数	%
市街地	210	21.6
農村地域	546	56.2
山村地域	38	3.9
新興住宅地	157	16.2
無回答	20	2.1
計	971	100.0

7 職業

	件数	%
農林水産業	36	3.7
製造業	111	11.4
建設業	53	5.5
卸小売業	27	2.8
医療・福祉	64	6.6
宿泊・飲食サービス業	11	1.1
生活関連サービス業・娯楽業	35	3.6
学術研究・専門技術サービス業	21	2.2
不動産・物品賃貸業	3	0.3
公務員・団体職員	83	8.5
パート・アルバイト	109	11.2
学生	9	0.9
家事専業	101	10.4
無職	264	27.2
その他	40	4.1
無回答	4	0.4
計	971	100.0

Ⅲ 調査結果の概要

調査結果の概要

1 居住歴および転入の状況

(1) 生まれと居住歴

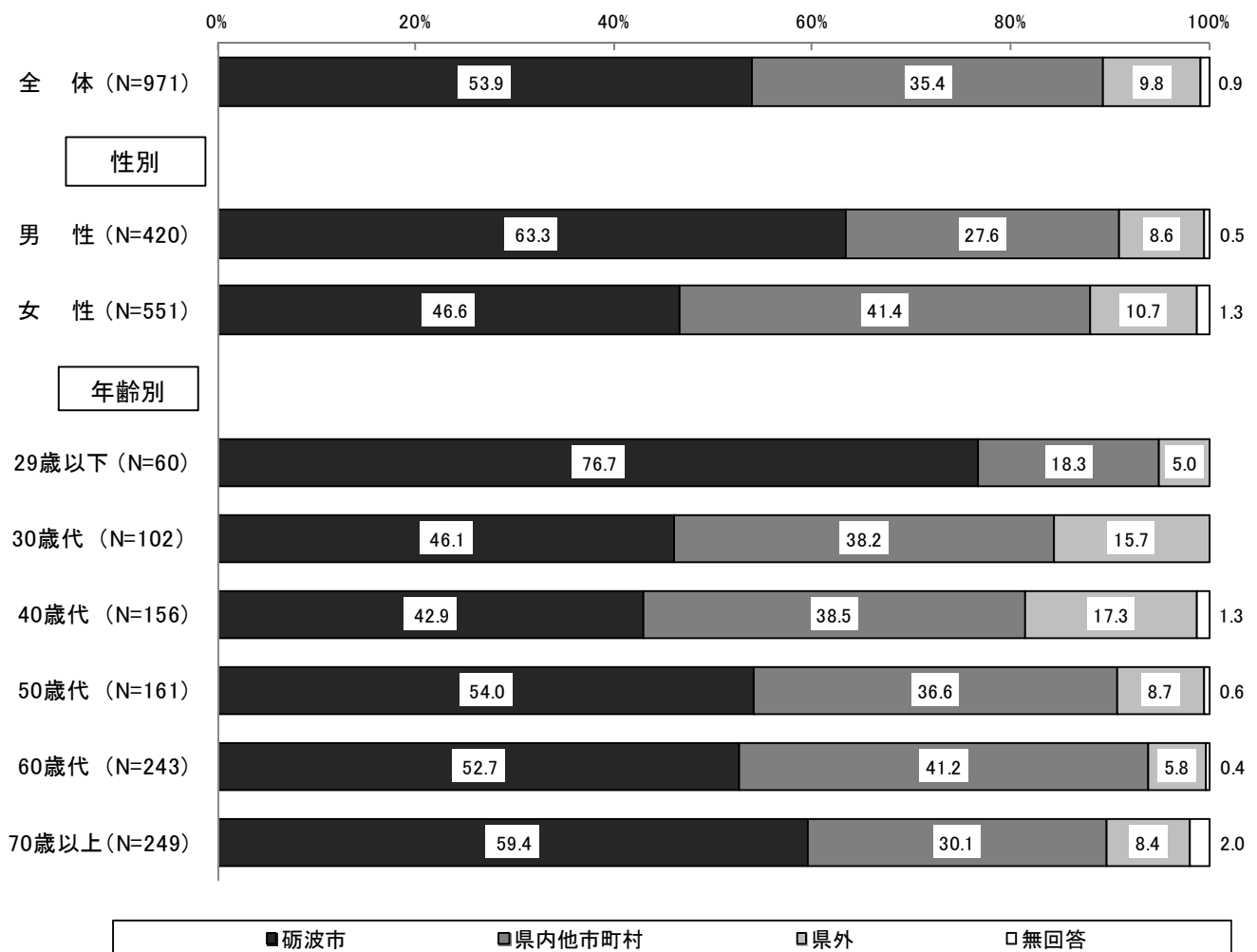
① 生まれ

生まれについてきいたところ、「砺波市」が53.9%、「県内他市町村」が35.4%、「県外」が9.8%となっている。

男女別にみると、男性は「砺波市」が63.3%と女性に比べて多くなっている。

年齢別にみると、「29歳以下」は「砺波市」が76.7%と多く、「40歳代」は42.9%と他の年代に比べて少なくなっている。

図表 1-1-1 生まれ<単数回答>



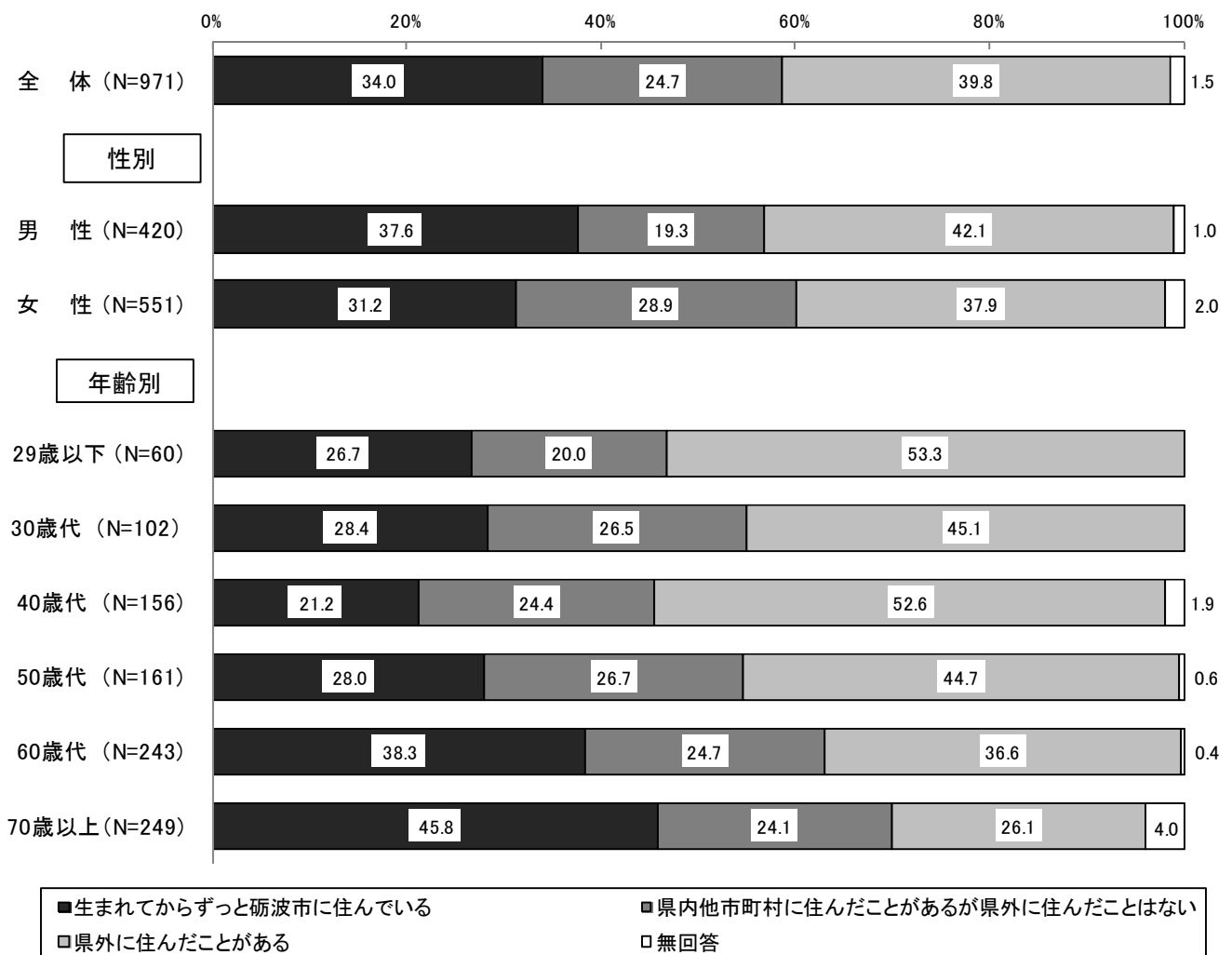
② 居住歴

居住歴についてきいたところ、「生まれてからずっと砺波市に住んでいる」が34.0%、「県内他市町村に住んだことがあるが県外に住んだことはない」が24.7%、「県外に住んだことがある」が39.8%となっている。

男女別にみると、男性は「生まれてからずっと砺波市に住んでいる」、「県外に住んだことがある」がそれぞれ女性に比べて多くなっている。

年齢別にみると、「70歳以上」では「生まれてからずっと砺波市に住んでいる」が45.8%と多く、「29歳以下」および「40歳代」で「県外に住んだことがある」が半数超と多くなっている。

図表 1-1-2 居住歴<単数回答>



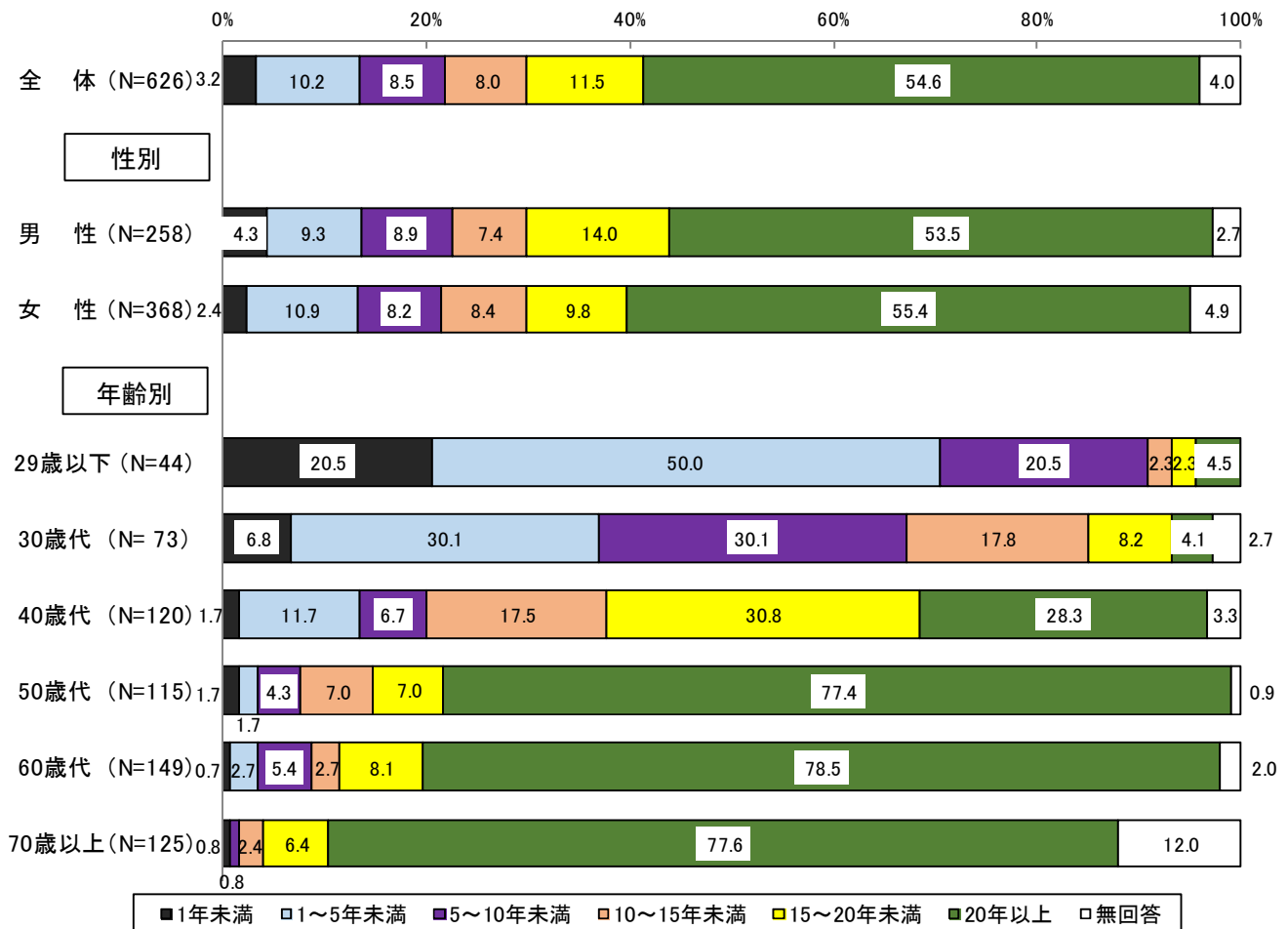
(2) 転入（戻ってきて）からの期間

砺波市以外での居住歴があったとした626人に、転入（戻ってきて）からの期間についてきいたところ、「1年未満」が3.2%、「1～5年未満」が10.2%と5年未満の転入からの期間が短い人が13.4%、「5～10年未満」が8.5%、「10～15年未満」が8.0%、「15～20年未満」が11.5%、「20年以上」が54.6%となっている。

男女別にみると、大きな差はみられなかった。

年齢別にみると、「50歳以上」で「20年以上」が7割台後半となっている。

図表 1-2 転入（戻ってきて）からの期間＜単数回答＞



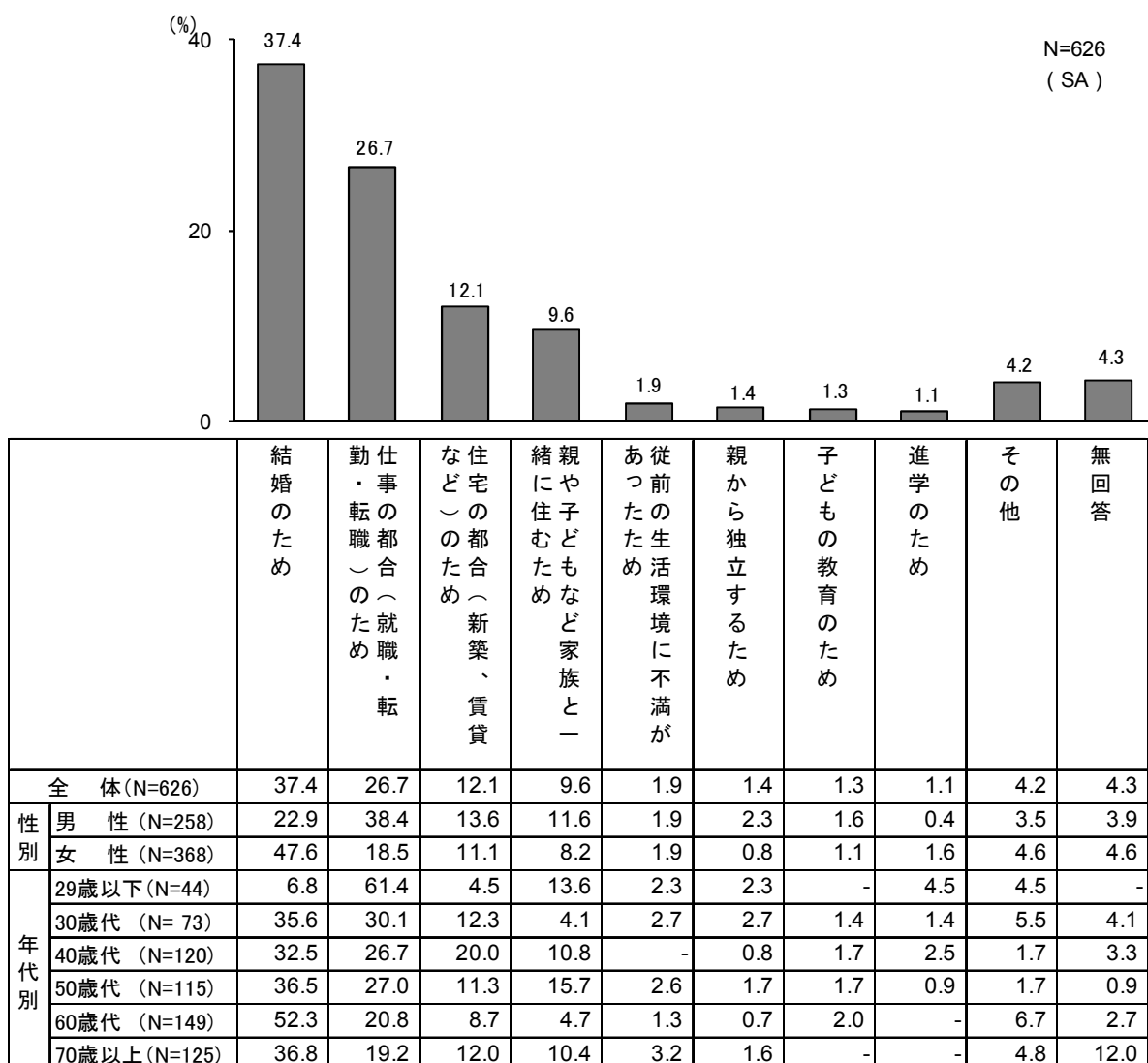
(3) 転入する(戻る)ことにした理由

砺波市以外での居住歴があったとした626人に、転入する(戻る)ことにした最も大きな理由をきいたところ、「結婚のため」が37.4%と最も多く、次いで「仕事の都合(就職・転勤・転職)のため」が26.7%、「住宅の都合(新築、賃貸など)のため」が12.1%の順となっている。

男女別にみると、男性は「仕事の都合(就職・転勤・転職)のため」が多く、女性は「結婚のため」が多くなっている。

年代別にみると、「29歳以下」は「仕事の都合(就職・転勤・転職)のため」が61.4%と多く、「60歳代」は「結婚のため」が52.3%と多くなっている。

図表 1-3 転入する(戻る)ことにした理由<単数回答>



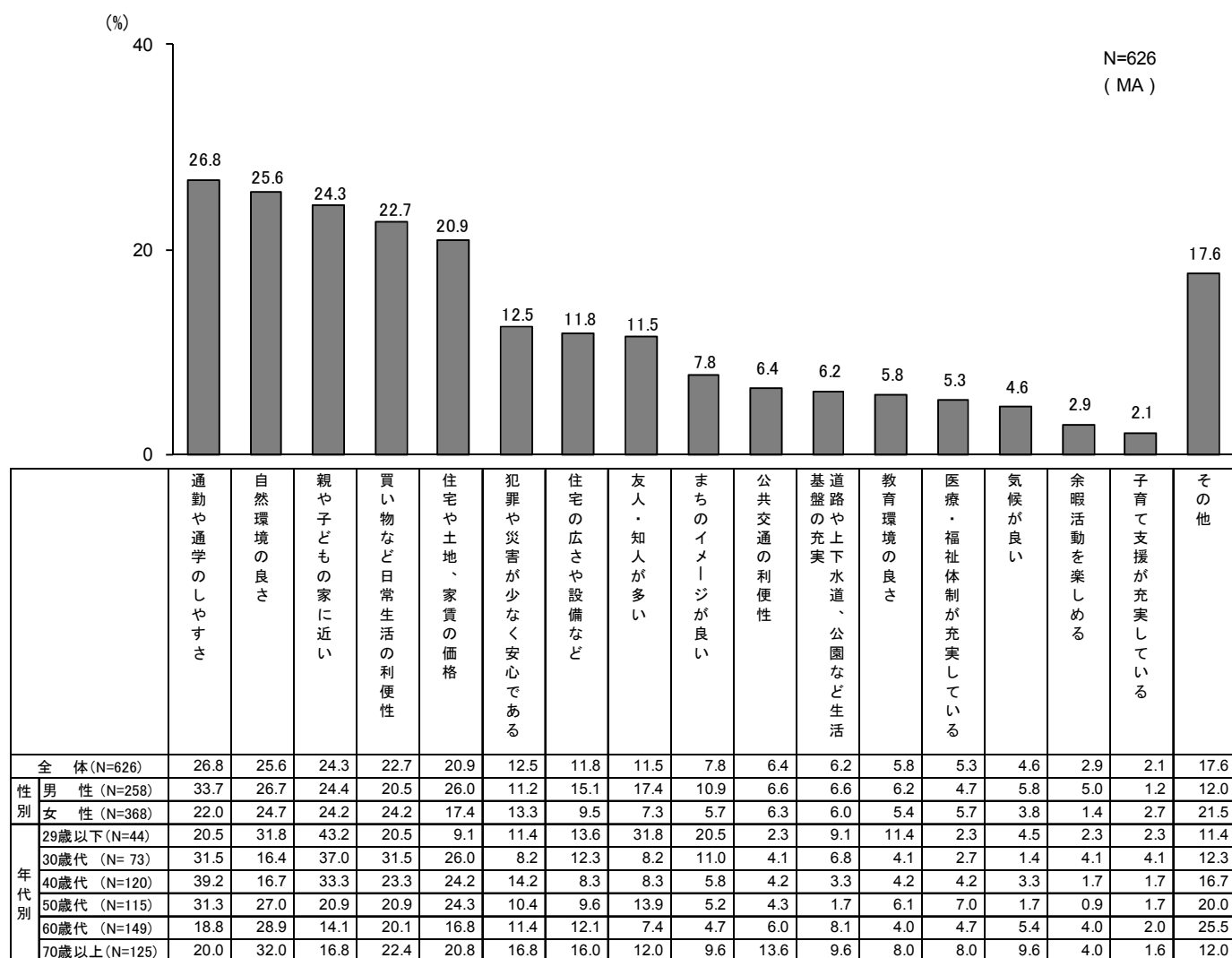
(4) 転入する(戻る)際に重視した点

砺波市以外での居住歴があったとした626人に、転入する(戻る)際に重視した点をきいたところ、「通勤や通学のしやすさ」が26.8%と最も多く、次いで「自然環境の良さ」が25.6%、「親や子どもの家に近い」が24.3%、「買い物など日常生活の利便性」が22.7%、「住宅や土地、家賃の価格」が20.9%の順となっている。

男女別にみると、男性は「通勤や通学のしやすさ」、「住宅や土地、家賃の価格」、「友人・知人が多い」が女性に比べて多くなっている。

年代別にみると、年代が低いほど「親や子どもの家に近い」が多くなっている。また、「29歳以下」で「友人・知人が多い」が他の年代に比べて多くなっている。

図表 1-4 転入する(戻る)際に重視した点<複数回答>



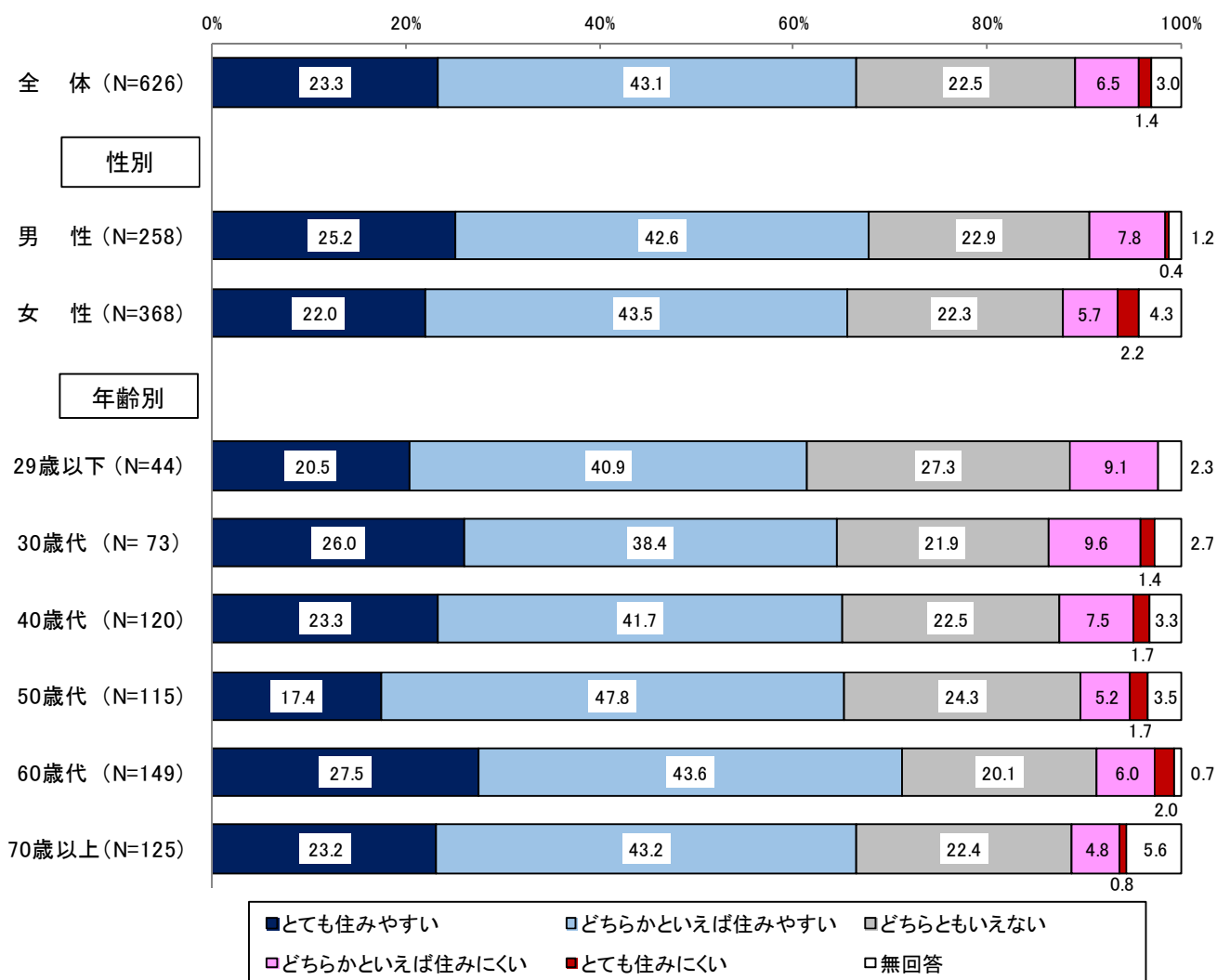
(5) 以前の居住地と比べた住み心地

以前の居住地と比べた住み心地についてきいたところ、「とても住みやすい」が23.3%、「どちらかといえば住みやすい」が43.1%と7割弱が住みやすいとしている。一方、「どちらともいえない」が22.5%、「どちらかといえば住みにくい」が6.5%、「とても住みにくい」が1.4%となっている。

男女別にみると、大きな差はみられなかった。

年代別にみると、「60歳代」で「とても住みやすい」が27.5%、「どちらかといえば住みやすい」が43.6%と合わせて7割超となっており、他の年代に比べて多くなっている。

図表 1-5 以前の居住地と比べた住み心地<単数回答>



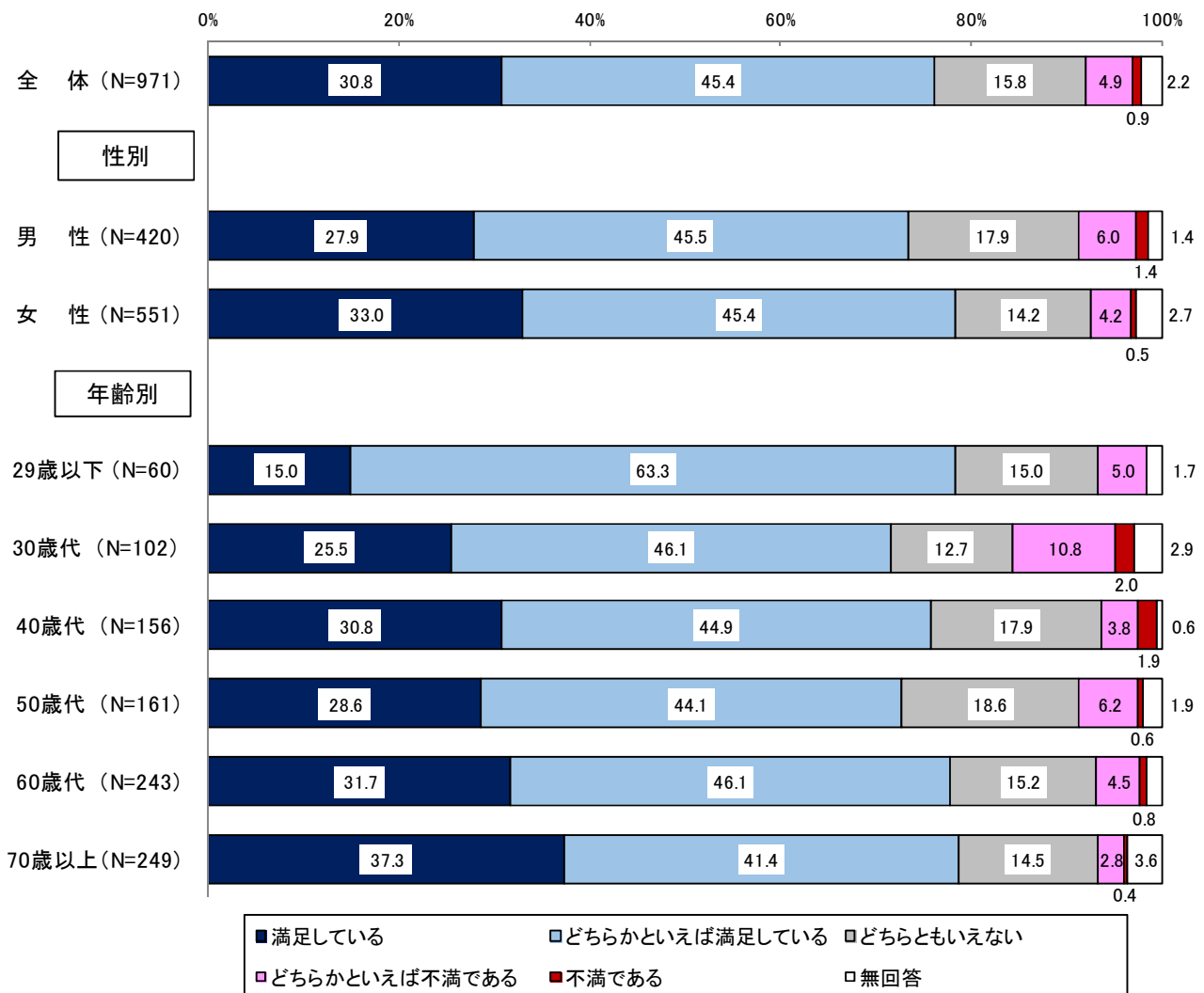
2 砺波市の生活の満足度

砺波市での生活の満足度についてきいたところ、「満足している」が30.8%、「どちらかといえば満足している」が45.4%と満足している人が76.2%となっている。一方、「どちらともいえない」が15.8%、「どちらかといえば不満である」が4.9%、「不満である」が0.9%となっている。

男女別にみると、女性は「満足している」が33.0%と男性に比べてやや多くなっている。

年代別にみると、年代が高いほど「満足している」が多い傾向にあり、「29歳以下」は15.0%であるのに対し、「70歳以上」が37.3%となっている。しかし、「29歳以下」は「どちらかといえば満足している」が63.3%と多くっており、満足している人は各年代7割台となっている。一方、「30歳代」は「どちらかといえば不満である」が10.8%、「不満である」が2.0%と他の年代に比べて多くなっている。

図表 2-1 砺波市の生活の満足度＜単数回答＞



3 砺波市での今後の居住意向

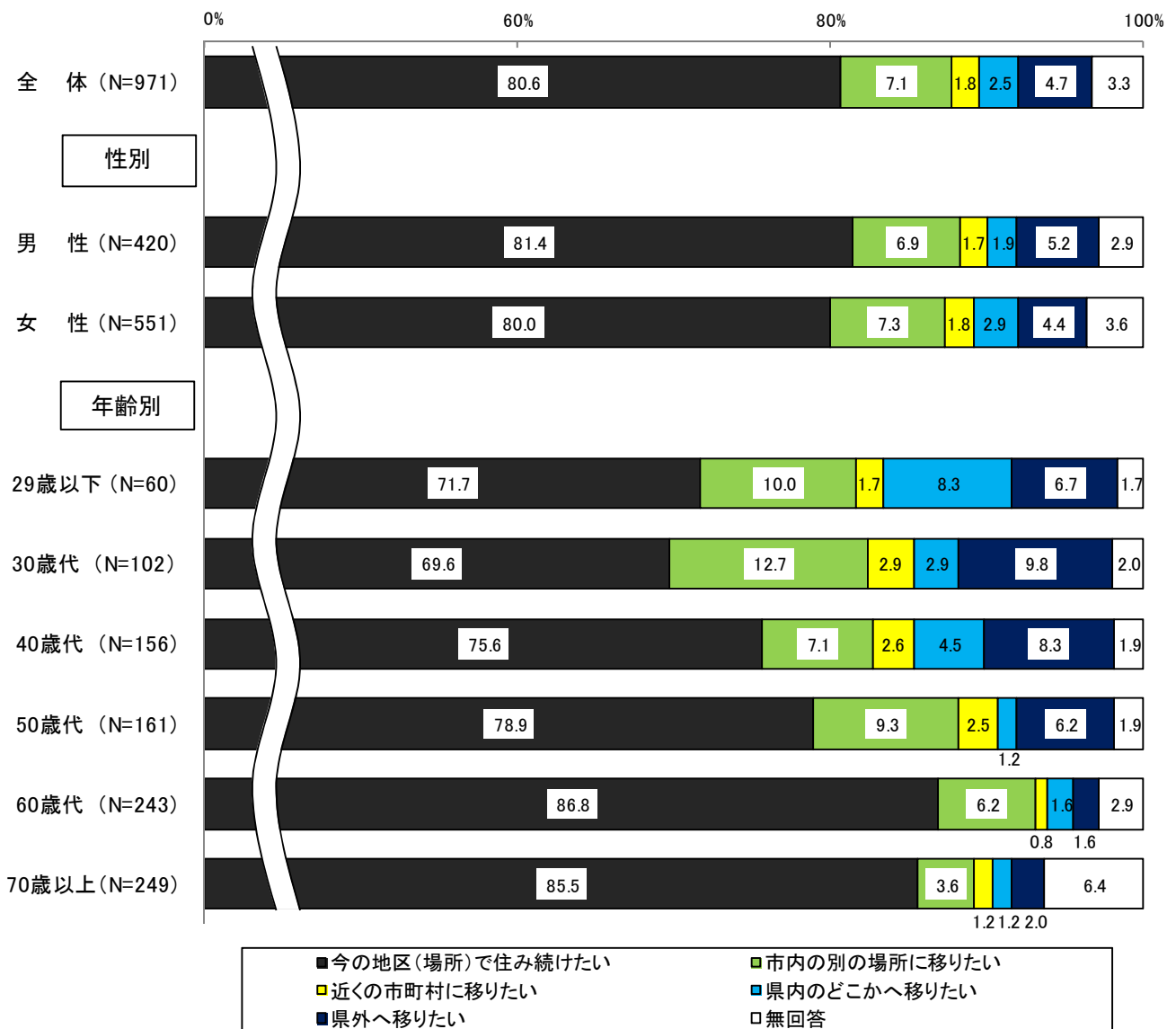
(1) 今後も市に住み続けたいと思うか

今後も砺波市に住み続けたいと思うかきいたところ、「今の地区(場所)で住み続けたい」が80.6%、「市内の別の場所に移りたい」が7.1%と、9割近い人が市内で住み続けたいとしている。一方、「近くの市町村に移りたい」が1.8%、「県内のどこかへ移りたい」が2.5%、「県外へ移りたい」が4.7%となっている。

男女別にみると、大きな差はみられなかった。

年齢別にみると、年代が高いほど「今の地区(場所)で住み続けたい」が多い傾向にある。一方、「29歳以下」で「県内のどこかへ移りたい」が8.3%、「30歳代」で「県外へ移りたい」が9.8%と他の年代に比べて多くなっており、潜在的な転出予備軍は「29歳以下」で26.7%、「30歳代」で28.3%、「40歳代」で22.5%、「50歳代」で19.2%などとなっている。

図表 3-1 今後も市に住み続けたいと思うか<単数回答>



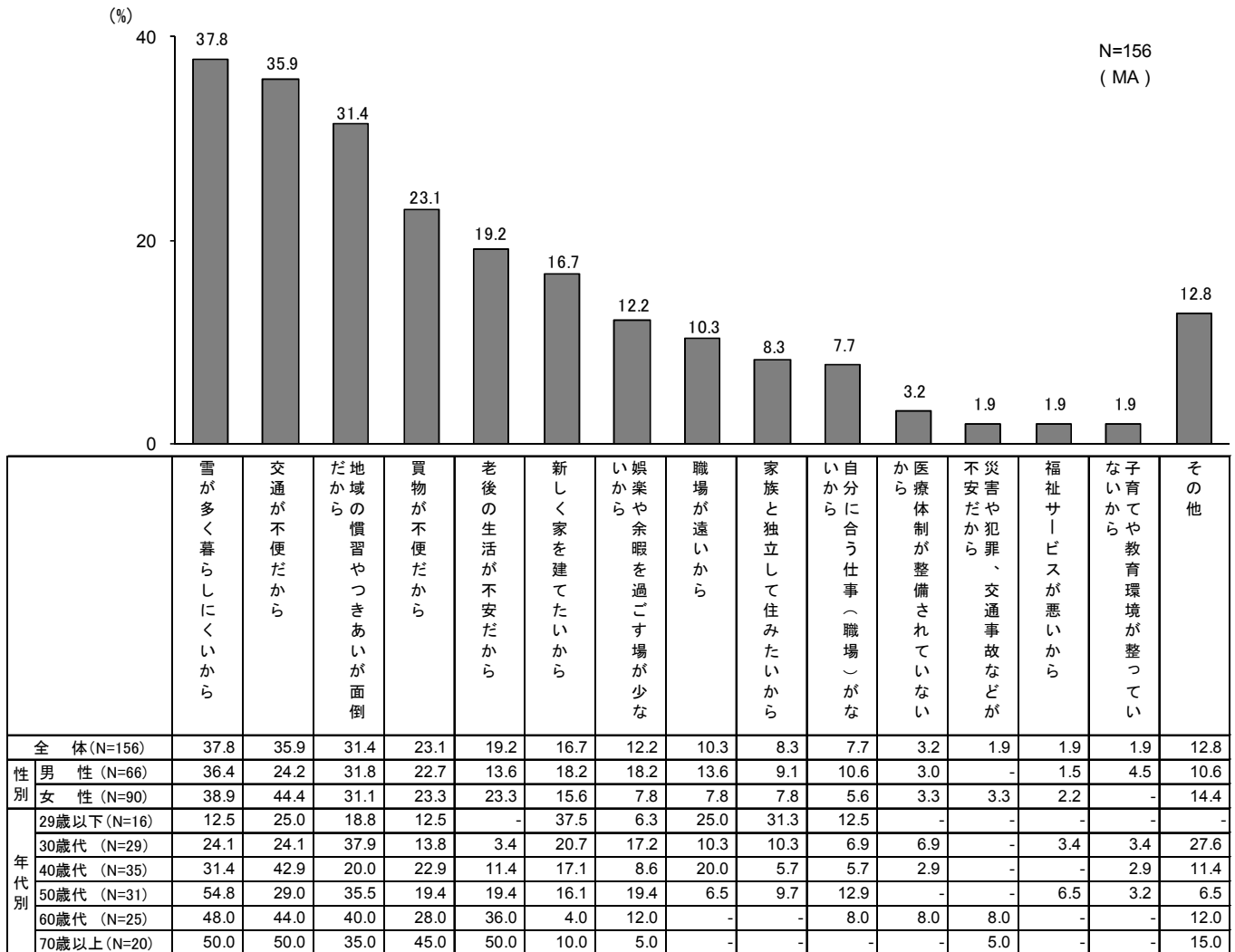
(2) 今の場所から移りたい理由

今の場所から移りたいとした156人にその理由をきいたところ、「雪が多く暮らしにくいから」が37.8%と最も多く、次いで「交通が不便だから」が35.9%、「地域の慣習やつきあいが面倒だから」が31.4%の順となっている。

男女別にみると、男性は「娯楽や余暇を過ごす場が少ないから」が女性に比べて多く、女性は「交通が不便だから」、「老後の生活が不安だから」が男性に比べて多くなっている。

年代別にみると、年代が高いほど「雪が多く暮らしにくいから」、「交通が不便だから」、「買物が不便だから」、「老後の生活が不安だから」が多い傾向にある。また、「29歳以下」は「新しく家を建てたいから」が37.5%と最も多くなっている。

図表 3-2 今の場所から移りたい理由<複数回答>



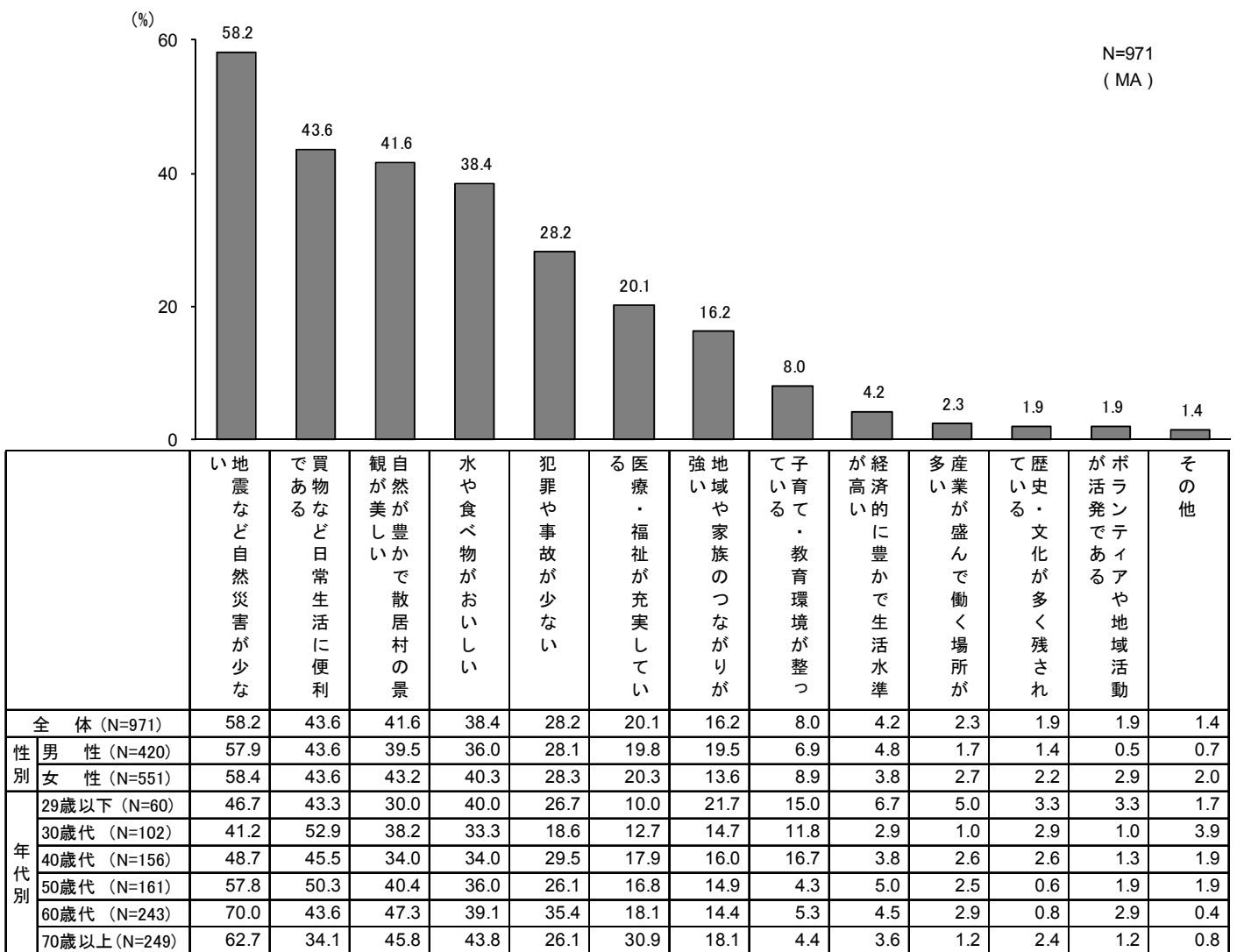
4 砺波市の良い点や魅力

砺波市の良い点や魅力についてきいたところ、「地震など自然災害が少ない」が58.2%と最も多く、次いで「買物など日常生活に便利である」が43.6%、「自然が豊かで散居村の景観が美しい」が41.6%、「水や食べ物がおいしい」が38.4%の順となっている。

男女別にみると、男性は「地域や家族のつながりが強い」が女性に比べて多くなっている。

年代別にみると、「30歳代」は「買物など日常生活に便利である」が最も多く、それ以外の年代は「地震など自然災害が少ない」が最も多くなっている。また、「60歳代」で「犯罪や事故が少ない」、「70歳以上」で「医療・福祉が充実している」が他の年代に比べて多くなっている。

図表4 砺波市の良い点や魅力<複数回答>



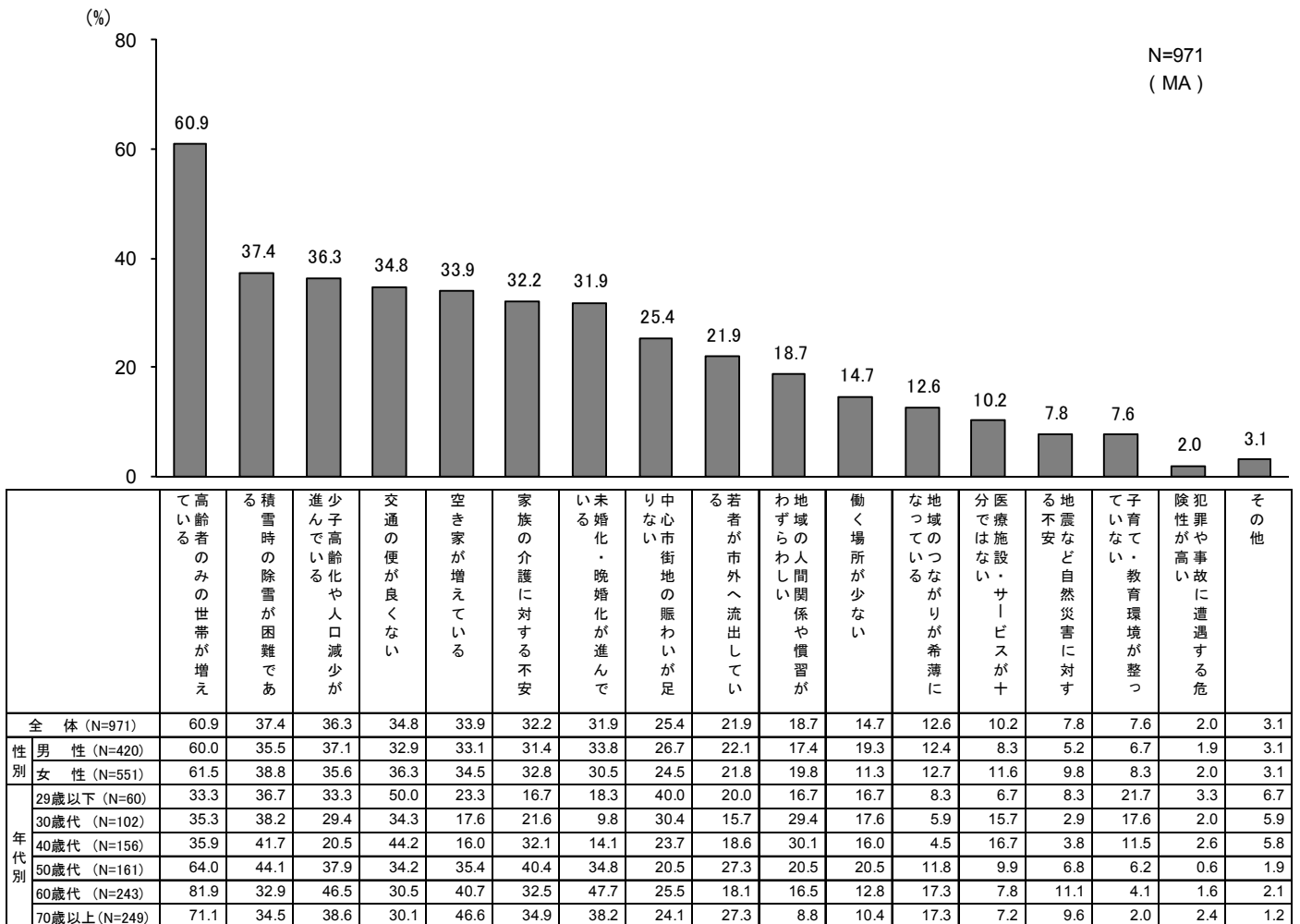
5 砺波市で生活する上での課題

砺波市で生活する上での課題や不便なことをきいたところ、「高齢者のみの世帯が増えている」が60.9%と最も多く、次いで「積雪時の除雪が困難である」が37.4%、「少子高齢化や人口減少が進んでいる」が36.3%、「交通の便が良くない」が34.8%の順となっている。

男女別にみると、男性は「働く場所が少ない」が女性に比べて多くなっている。

年代別にみると、「50歳代以上」は「高齢者のみの世帯が増えている」が最も多くなっているが、「29歳以下」と「40歳代」は「交通の便が良くない」が最も多く、「30歳代」は「積雪時の除雪が困難である」が最も多くなっている。また、「29歳以下」で「中心市街地の賑わいが足りない」、「30歳代」と「40歳代」で「地域の間関係や慣習がわずらわしい」、「50歳代」で「家族の介護に対する不安」、「60歳代」で「少子高齢化や人口減少が進んでいる」や「未婚化・晩婚化が進んでいる」、「70歳以上」で「空き家が増えている」がそれぞれ他の年代に比べて多くなっている。

図表5 砺波市で生活する上での課題<複数回答>

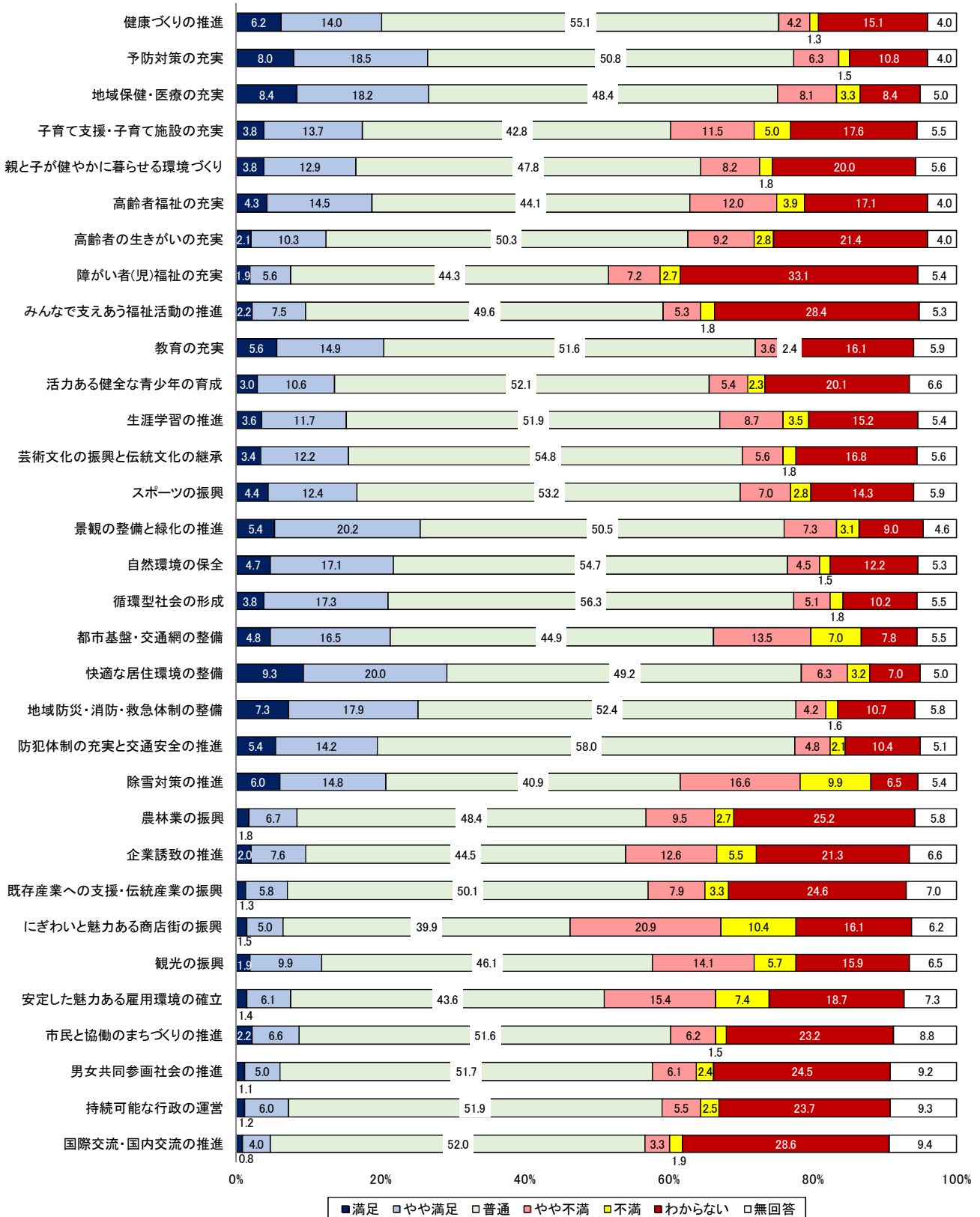


6 施策の満足度・重要度

(1) 満足度

前計画の32施策について、満足度と重要度を5段階で評価した結果についてみていく。満足度をみると、「快適な居住環境の整備」や「地域保健・医療の充実」、「予防対策の充実」の満足度が高く、「にぎわいと魅力ある商店街の振興」や「除雪対策の推進」の不満足が高くなっている。

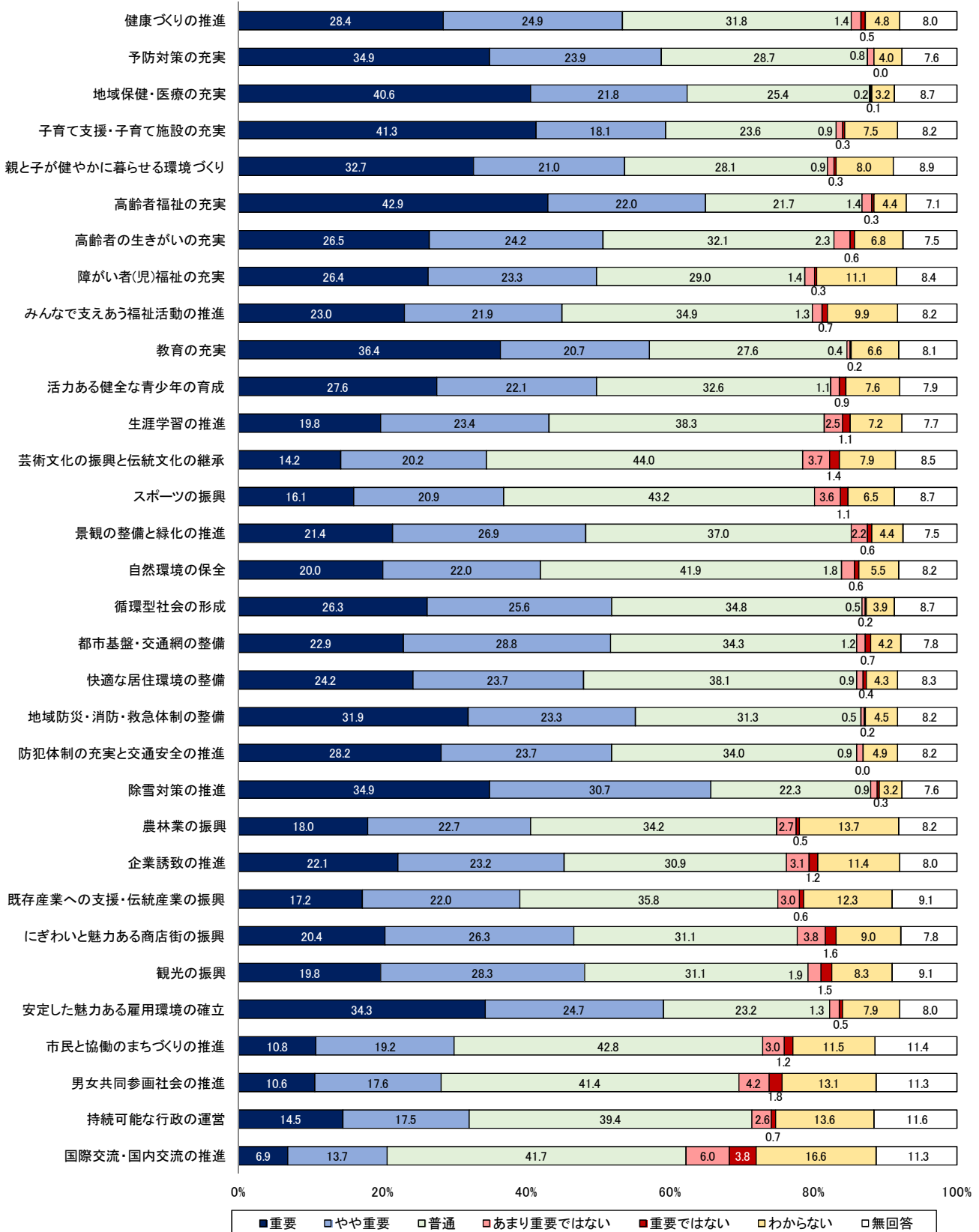
図表 6-1 満足度＜単数回答＞



(2) 重要度

重要度をみると、「除雪対策の推進」や「高齢者福祉の充実」、「地域保健・医療の充実」、「子育て支援・子育て施設の充実」、「安定した魅力ある雇用環境の確立」の重要度が高くなっている。

図表 6-2 重要度＜単数回答＞



7 重視すべき施策

(1) 性別・年代別

特に重点的に力を入れるべき施策についてきいたところ、「高齢者福祉の充実」が27.5%と最も多く、「子育て支援・子育て施設の充実」が23.9%、「地域保健・医療の充実」が14.2%、「除雪対策の推進」が14.0%、「教育の充実」が13.5%の順となっている。

男女別にみると、男性は「子育て支援・子育て施設の充実」、女性は「高齢者福祉の充実」が最も多くなっている。また、男性は「にぎわいと魅力ある商店街の振興」、「企業誘致の推進」が女性に比べて多くなっている。

年代別にみると、「40歳代以下」は「子育て支援・子育て施設の充実」が最も多く、「50歳代以上」は「高齢者福祉の充実」が最も多くなっている。また、「30歳代」と「40歳代」で「教育の充実」が2割超と他の年代に比べて多い。

図表 7(1) 重視すべき施策【性別・年代別】＜複数回答＞

(単位：%)

	全 体 (N=971)	性別		年代別					
		男 性 (N=420)	女 性 (N=551)	29歳以下 (N=60)	30歳代 (N=102)	40歳代 (N=156)	50歳代 (N=161)	60歳代 (N=243)	70歳以上 (N=249)
高齢者福祉の充実	27.5	22.6	31.2	10.0	14.7	34.0	30.4	34.6	24.1
子育て支援・子育て施設の充実	23.9	23.8	24.0	45.0	50.0	34.6	21.7	17.7	8.8
地域保健・医療の充実	14.2	12.4	15.6	15.0	20.6	16.0	14.9	14.4	9.6
除雪対策の推進	14.0	12.9	14.9	18.3	18.6	19.2	14.9	12.3	8.8
教育の充実	13.5	12.9	14.0	15.0	22.5	20.5	11.2	10.3	9.6
安定した魅力ある雇用環境の確立	13.0	12.9	13.1	13.3	9.8	17.9	14.9	14.0	8.8
高齢者の生きがいの充実	9.9	10.2	9.6	5.0	3.9	7.1	8.1	14.0	12.4
にぎわいと魅力ある商店街の振興	8.7	11.2	6.7	16.7	11.8	8.3	7.5	10.3	4.8
予防対策の充実	8.4	8.1	8.7	11.7	8.8	11.5	9.3	7.0	6.4
健康づくりの推進	8.2	6.7	9.4	1.7	8.8	5.1	8.1	11.1	8.8
親と子が健やかに暮らせる環境づくり	8.0	8.6	7.6	10.0	16.7	7.7	6.2	8.2	5.2
都市基盤・交通網の整備	7.6	9.3	6.4	16.7	11.8	7.7	10.6	5.8	3.6
企業誘致の推進	7.5	11.0	4.9	10.0	8.8	7.1	8.7	7.0	6.4
地域防災・消防・救急体制の整備	6.8	6.7	6.9	6.7	2.0	5.8	8.7	8.2	6.8
景観の整備と緑化の推進	5.7	6.0	5.4	6.7	6.9	5.1	4.3	9.1	2.8
観光の振興	5.5	7.1	4.2	6.7	7.8	5.8	6.8	5.3	3.2
みんなで支えあう福祉活動の推進	5.3	2.9	7.1	3.3	3.9	5.1	6.2	4.5	6.4
農林業の振興	5.3	7.1	3.8	3.3	4.9	3.2	6.8	8.6	2.8
活力ある健全な青少年の育成	5.1	3.3	6.5	1.7	2.9	1.9	8.1	5.3	6.8
スポーツの振興	4.8	6.7	3.4	10.0	7.8	7.1	3.7	4.1	2.4
障がい者(児)福祉の充実	4.3	3.8	4.7	3.3	2.9	4.5	5.0	6.6	2.4
自然環境の保全	4.3	5.5	3.4	1.7	2.9	5.8	5.0	6.6	2.0
持続可能な行政の運営	3.9	4.5	3.4	3.3	1.0	1.3	5.0	4.5	5.6
快適な居住環境の整備	3.8	5.0	2.9	1.7	4.9	2.6	3.1	5.8	3.2
生涯学習の推進	3.4	1.9	4.5	5.0	2.9	3.2	3.1	3.7	3.2
防犯体制の充実と交通安全の推進	3.2	1.9	4.2	3.3	1.0	5.1	5.0	2.9	2.0
芸術文化の振興と伝統文化の継承	3.0	3.3	2.7	5.0	3.9	2.6	5.0	2.1	2.0
循環型社会の形成	2.9	3.6	2.4	1.7	-	4.5	3.7	3.7	2.0
市民と協働のまちづくりの推進	2.4	2.1	2.5	1.7	2.9	0.6	3.7	1.2	3.6
男女共同参画社会の推進	2.1	1.7	2.4	8.3	2.9	1.3	0.6	2.1	1.6
既存産業への支援・伝統産業の振興	1.9	3.1	0.9	1.7	-	3.2	0.6	2.5	2.0
国際交流・国内交流の推進	1.3	1.2	1.5	5.0	-	1.3	0.6	0.8	2.0

(2) 地区別

地区別にみると、鷹栖地区で「高齢者福祉の充実」が43.9%と多く、庄下、中野、柳瀬地区で「子育て支援・子育て施設の充実」が多くなっている。また、五鹿屋地区で「除雪対策の推進」、東般若地区で「都市基盤・交通網の整備」が他の地区に比べて多くなっている。

図表 7(2) 重視すべき施策【地区別】＜複数回答＞ (単位：%)

	全体 (N=971)	出町 (N=154)	庄下 (N=53)	中野 (N=37)	五鹿屋 (N=42)	東野尻 (N=49)	鷹栖 (N=57)	若林 (N=17)	林 (N=81)	高波 (N=37)	油田 (N=79)
高齢者福祉の充実	27.5	27.9	34.0	18.9	26.2	26.5	43.9	17.6	24.7	24.3	27.8
子育て支援・子育て施設の充実	23.9	26.6	35.8	35.1	19.0	30.6	24.6	35.3	22.2	21.6	20.3
地域保健・医療の充実	14.2	14.9	11.3	10.8	7.1	16.3	17.5	23.5	11.1	24.3	13.9
除雪対策の推進	14.0	9.7	7.5	21.6	26.2	8.2	12.3	5.9	13.6	13.5	20.3
教育の充実	13.5	13.6	13.2	21.6	21.4	18.4	7.0	11.8	8.6	21.6	11.4
安定した魅力ある雇用環境の確立	13.0	11.7	7.5	21.6	14.3	22.4	12.3	17.6	13.6	16.2	11.4
高齢者の生きがいの充実	9.9	9.1	5.7	5.4	-	12.2	12.3	11.8	13.6	2.7	12.7
にぎわいと魅力ある商店街の振興	8.7	14.9	9.4	5.4	-	4.1	5.3	11.8	12.3	10.8	6.3
健康づくりの推進	8.2	5.2	9.4	10.8	4.8	2.0	7.0	-	11.1	8.1	10.1
予防対策の充実	8.4	6.5	7.5	2.7	11.9	6.1	7.0	17.6	7.4	8.1	8.9
親と子が健やかに暮らせる環境づくり	8.0	6.5	7.5	18.9	9.5	8.2	5.3	11.8	6.2	8.1	8.9
都市基盤・交通網の整備	7.6	6.5	3.8	8.1	7.1	6.1	12.3	5.9	8.6	2.7	2.5
企業誘致の推進	7.5	4.5	9.4	-	11.9	16.3	1.8	-	7.4	5.4	10.1
地域防災・消防・救急体制の整備	6.8	8.4	7.5	5.4	4.8	4.1	3.5	5.9	11.1	-	5.1
景観の整備と緑化の推進	5.7	3.9	5.7	8.1	7.1	6.1	8.8	5.9	2.5	5.4	7.6
観光の振興	5.5	3.9	5.7	5.4	4.8	2.0	-	-	6.2	5.4	10.1
農林業の振興	5.3	3.2	5.7	2.7	-	8.2	7.0	5.9	4.9	2.7	6.3
みんなで支えあう福祉活動の推進	5.3	5.2	3.8	5.4	7.1	6.1	7.0	-	3.7	2.7	5.1
活力ある健全な青少年の育成	5.1	3.2	11.3	2.7	4.8	4.1	5.3	5.9	2.5	5.4	5.1
スポーツの振興	4.8	3.2	1.9	2.7	9.5	8.2	-	-	8.6	5.4	5.1
障がい者(児)福祉の充実	4.3	1.9	7.5	5.4	-	2.0	1.8	-	7.4	5.4	2.5
自然環境の保全	4.3	3.2	3.8	2.7	4.8	6.1	1.8	-	3.7	5.4	2.5
持続可能な行政の運営	3.9	2.6	5.7	5.4	2.4	4.1	1.8	17.6	7.4	2.7	2.5
快適な居住環境の整備	3.8	3.9	5.7	5.4	-	4.1	5.3	-	7.4	5.4	5.1
生涯学習の推進	3.4	7.8	-	-	2.4	2.0	1.8	5.9	2.5	2.7	5.1
防犯体制の充実と交通安全の推進	3.2	5.8	1.9	8.1	9.5	-	3.5	5.9	2.5	5.4	-
芸術文化の振興と伝統文化の継承	3.0	5.2	1.9	2.7	2.4	4.1	1.8	-	-	-	6.3
循環型社会の形成	2.9	3.2	3.8	-	2.4	-	5.3	-	4.9	-	5.1
市民と協働のまちづくりの推進	2.4	1.3	3.8	2.7	2.4	4.1	-	5.9	2.5	2.7	2.5
男女共同参画社会の推進	2.1	1.3	-	2.7	2.4	-	3.5	5.9	6.2	2.7	1.3
既存産業への支援・伝統産業の振興	1.9	2.6	1.9	-	7.1	4.1	-	-	1.2	-	1.3
国際交流・国内交流の推進	1.3	0.6	3.8	-	-	2.0	-	-	3.7	5.4	1.3

	南般若 (N=53)	柳瀬 (N=40)	太田 (N=31)	般若 (N=35)	東般若 (N=24)	柗檀野 (N=37)	柗檀山 (N=7)	東山見 (N=53)	青島 (N=43)	雄神 (N=17)	種田 (N=23)
高齢者福祉の充実	32.1	27.5	29.0	31.4	33.3	32.4	14.3	18.9	20.9	11.8	21.7
子育て支援・子育て施設の充実	11.3	40.0	19.4	14.3	16.7	10.8	-	18.9	14.0	23.5	8.7
地域保健・医療の充実	13.2	25.0	16.1	11.4	16.7	16.2	-	9.4	14.0	5.9	13.0
除雪対策の推進	9.4	7.5	12.9	14.3	12.5	24.3	-	18.9	20.9	11.8	17.4
教育の充実	18.9	7.5	3.2	11.4	20.8	8.1	-	11.3	11.6	23.5	17.4
安定した魅力ある雇用環境の確立	9.4	10.0	9.7	11.4	8.3	5.4	14.3	17.0	11.6	11.8	21.7
高齢者の生きがいの充実	15.1	10.0	6.5	11.4	8.3	13.5	-	5.7	14.0	11.8	17.4
にぎわいと魅力ある商店街の振興	5.7	7.5	12.9	-	4.2	5.4	-	3.8	11.6	17.6	13.0
健康づくりの推進	13.2	7.5	12.9	14.3	8.3	5.4	-	11.3	7.0	-	4.3
予防対策の充実	5.7	7.5	6.5	17.1	8.3	2.7	14.3	9.4	14.0	11.8	13.0
親と子が健やかに暮らせる環境づくり	5.7	10.0	9.7	-	12.5	2.7	-	9.4	4.7	23.5	8.7
都市基盤・交通網の整備	7.5	7.5	9.7	17.1	29.2	13.5	-	7.5	7.0	-	-
企業誘致の推進	11.3	2.5	9.7	8.6	4.2	2.7	-	15.1	11.6	11.8	4.3
地域防災・消防・救急体制の整備	5.7	7.5	3.2	5.7	12.5	10.8	-	3.8	9.3	17.6	4.3
景観の整備と緑化の推進	7.5	5.0	3.2	2.9	4.2	-	28.6	7.5	7.0	5.9	8.7
観光の振興	7.5	5.0	-	5.7	4.2	5.4	-	13.2	4.7	5.9	13.0
農林業の振興	3.8	5.0	12.9	-	16.7	5.4	-	3.8	4.7	17.6	8.7
みんなで支えあう福祉活動の推進	5.7	7.5	9.7	11.4	4.2	5.4	-	5.7	-	-	4.3
活力ある健全な青少年の育成	7.5	7.5	9.7	8.6	-	2.7	-	7.5	2.3	5.9	8.7
スポーツの振興	1.9	7.5	3.2	2.9	-	2.7	14.3	5.7	9.3	-	17.4
障がい者(児)福祉の充実	3.8	5.0	16.1	5.7	8.3	2.7	14.3	1.9	2.3	23.5	-
自然環境の保全	7.5	5.0	-	8.6	4.2	2.7	-	5.7	4.7	17.6	4.3
持続可能な行政の運営	-	2.5	3.2	5.7	4.2	2.7	-	5.7	2.3	11.8	4.3
快適な居住環境の整備	9.4	-	-	2.9	-	2.7	-	-	2.3	5.9	-
生涯学習の推進	5.7	2.5	-	5.7	-	2.7	-	1.9	2.3	-	-
防犯体制の充実と交通安全の推進	3.8	5.0	3.2	-	-	-	-	-	-	-	8.7
芸術文化の振興と伝統文化の継承	3.8	2.5	3.2	-	-	2.7	14.3	1.9	4.7	-	-
循環型社会の形成	5.7	5.0	3.2	2.9	-	-	-	-	-	5.9	4.3
市民と協働のまちづくりの推進	1.9	2.5	-	5.7	4.2	-	-	1.9	2.3	5.9	4.3
男女共同参画社会の推進	3.8	-	-	-	4.2	2.7	-	-	2.3	-	4.3
既存産業への支援・伝統産業の振興	3.8	-	3.2	-	-	-	-	1.9	2.3	-	4.3
国際交流・国内交流の推進	-	-	-	2.9	-	5.4	-	-	-	-	-

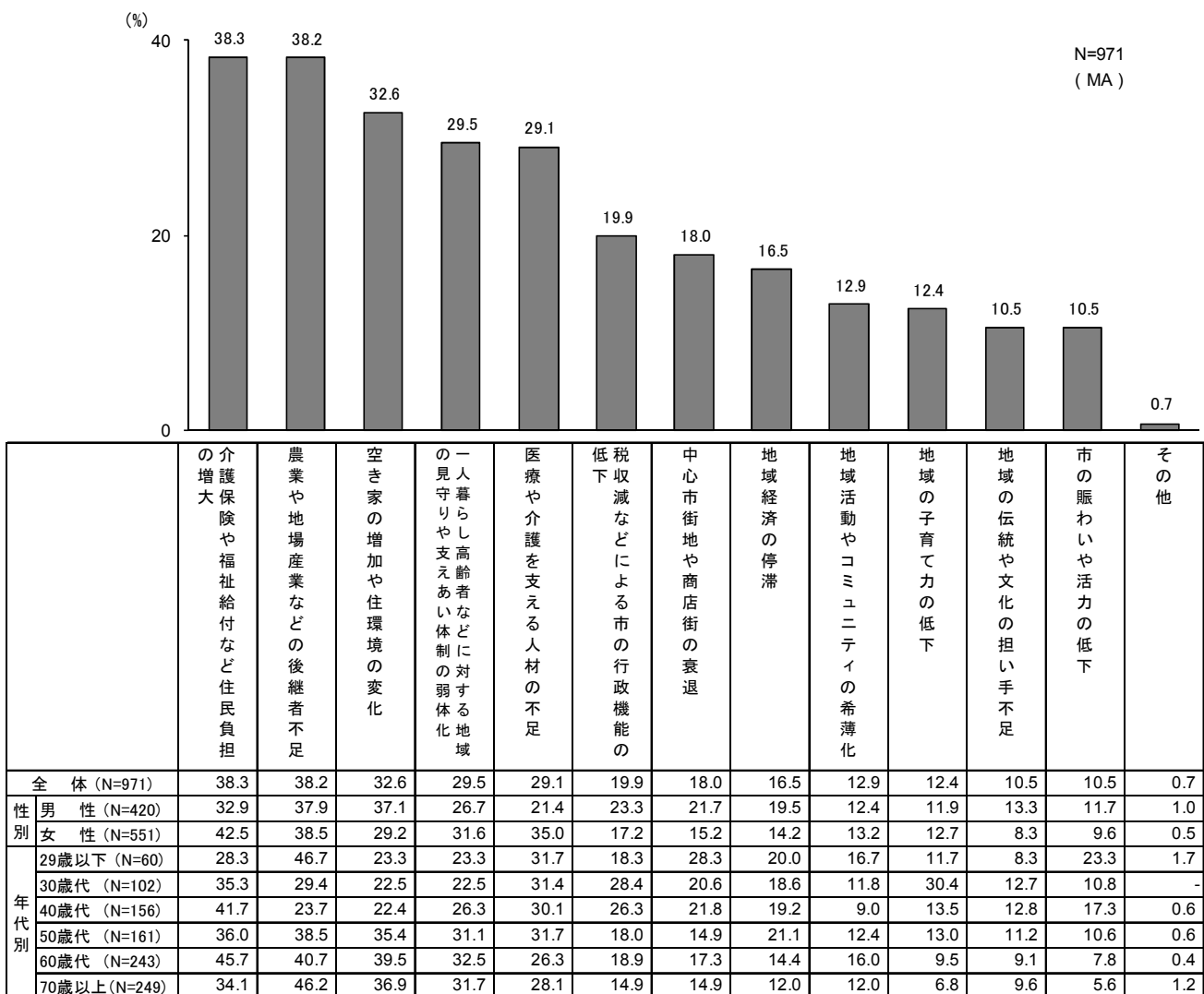
8 人口減少による影響

人口減少により市および住んでいる地域でどのような問題が起こっているか(起こると思うか)きいたところ、「介護保険や福祉給付など住民負担の増大」が38.3%と最も多く、次いで「農業や地場産業などの後継者不足」が38.2%、「空き家の増加や住環境の変化」が32.6%、「一人暮らし高齢者などに対する地域の見守りや支えあい体制の弱体化」が29.5%、「医療や介護を支える人材の不足」が29.1%の順となっている。

男女別にみると、男性は「空き家の増加や住環境の変化」、「税金減などによる町の行政機能の低下」、「中心市街地や商店街の衰退」が女性に比べて多く、女性は「介護保険や福祉給付など住民負担の増大」、「医療や介護を支える人材の不足」が男性に比べて多くなっている。

年代別にみると、年代が高いほど、「空き家の増加や住環境の変化」や「一人暮らし高齢者などに対する地域の見守りや支えあい体制の弱体化」が多い傾向にあり、年代が低いほど「中心市街地や商店街の衰退」が多い傾向にある。また、「30歳代」は「地域の子育て力の低下」が30.4%と他の年代に比べて多くなっている。

図表8 人口減少による影響<複数回答>



9 勤務状況

(1) 勤務地

現在就業中の593人に勤務地をきいたところ、「砺波市」が47.2%と最も多く、次いで「高岡市」が14.3%、「南砺市」が13.2%などとなっている。一方、「当面、働かない（働けない）」が1.7%、「現在、就職活動中」が0.3%などとなっている。

男女別にみると、男性は「富山市」が8.0%と女性に比べて多く、女性は「砺波市」が52.2%と男性に比べて多くなっている。

年代別にみると、年代が高いほど「砺波市」が多い傾向にある一方、「29歳以下」で「富山市」が14.9%と他の年代に比べて多くなっている。

図表 9-1 現在の勤務地<単数回答>

(単位：%)

		砺波市	小矢部市	南砺市	高岡市	射水市	富山市	その他富山県内	金沢市	その他石川県内	富山・石川県以外	当面、働かない (働けない)	現在、就職活動中	無回答
全 体 (N=593)		47.2	4.9	13.2	14.3	3.5	5.6	1.2	1.5	0.5	0.8	1.7	0.3	5.2
性別	男 性 (N=300)	42.3	5.7	12.0	14.7	5.0	8.0	1.3	2.7	0.3	1.3	1.7	0.3	4.7
	女 性 (N=293)	52.2	4.1	14.3	14.0	2.0	3.1	1.0	0.3	0.7	0.3	1.7	0.3	5.8
年代別	29歳以下 (N=47)	38.3	4.3	12.8	14.9	8.5	14.9	-	2.1	2.1	-	-	-	2.1
	30歳代 (N=89)	41.6	5.6	15.7	21.3	2.2	1.1	2.2	5.6	-	-	-	1.1	3.4
	40歳代 (N=140)	43.6	5.7	20.7	11.4	2.1	8.6	2.1	0.7	1.4	2.1	-	-	1.4
	50歳代 (N=143)	47.6	6.3	11.2	18.9	4.2	4.2	1.4	1.4	-	-	0.7	-	4.2
	60歳代 (N=130)	56.2	3.8	10.0	10.8	3.8	5.4	-	-	-	1.5	2.3	0.8	5.4
	70歳以上 (N=44)	52.3	-	-	4.5	2.3	-	-	-	-	-	13.6	-	27.3

(2) 通勤距離

現在の勤務地でいずれかに回答があった550人に通勤距離をきいたところ、「10～20km未満」が24.9%と最も多く、その他「2km未満」が16.9%、「2～5km未満」が15.6%、「5～10km未満」が19.3%などとなっており、自宅（自営）を含めた5km未満の人が39.8%となっている。

男女別にみると、男性は「20km以上」が23.9%と女性に比べて多くなっており、男性は女性と比べて通勤距離が長い傾向にある。

年代別にみると、「29歳以下」は「10km以上」が56.5%と他の年代に比べて多くなっている。

図表 9-2 通勤距離＜単数回答＞

(単位：%)

		2km未満	2～5km未満	5～10km未満	10～20km未満	20～30km未満	30km以上	自宅(自営など)	無回答
全 体 (N=550)		16.9	15.6	19.3	24.9	7.8	6.2	7.3	2.0
性 別	男 性 (N=280)	13.2	12.5	18.9	21.8	11.8	9.6	9.3	2.9
	女 性 (N=270)	20.7	18.9	19.6	28.1	3.7	2.6	5.2	1.1
年 代 別	29歳以下 (N=46)	19.6	8.7	10.9	32.6	13.0	10.9	-	4.3
	30歳代 (N= 85)	16.5	20.0	20.0	25.9	4.7	8.2	3.5	1.2
	40歳代 (N=138)	10.9	13.0	24.6	31.2	7.2	9.4	1.4	2.2
	50歳代 (N=136)	20.6	16.9	16.9	26.5	7.4	4.4	5.9	1.5
	60歳代 (N=119)	17.6	16.0	19.3	17.6	8.4	2.5	18.5	-
	70歳以上(N=26)	23.1	19.2	15.4	-	11.5	-	19.2	11.5

(3) 通勤時間

通勤時間をきいたところ、「15分未満」が37.1%と最も多く、「15～30分未満」が8.4%、「30分～1時間未満」が15.8%などとなっており、自宅を含めて30分未満が72.0%、1時間未満が87.8%となっている。一方、1時間以上とする人は4.4%となっている。

男女別にみると、男性は「30分～1時間未満」が21.1%と女性に比べて多く、女性は「15分未満」が45.9%と男性に比べて多くなっている。

年代別にみると、年代が高いほど通勤時間が短い傾向にある。

図表 9-3 通勤時間＜単数回答＞

(単位：%)

		15分未満	15～30分未満	30分～1時間未満	1時間～1時間30分未満	1時間30分～2時間未満	2時間以上	自宅(自営など)	無回答
全 体 (N=550)		37.1	28.4	15.8	3.8	0.2	0.4	6.5	7.8
性 別	男 性 (N=280)	28.6	27.1	21.1	6.4	0.4	0.4	8.2	7.9
	女 性 (N=270)	45.9	29.6	10.4	1.1	-	0.4	4.8	7.8
年 代 別	29歳以下 (N=46)	34.8	26.1	30.4	4.3	-	-	-	4.3
	30歳代 (N= 85)	38.8	31.8	14.1	4.7	-	1.2	2.4	7.1
	40歳代 (N=138)	34.1	35.5	13.8	5.8	0.7	0.7	0.7	8.7
	50歳代 (N=136)	36.0	22.8	20.6	2.9	-	-	5.9	11.8
	60歳代 (N=119)	41.2	27.7	7.6	2.5	-	-	16.8	4.2
	70歳以上(N=26)	38.5	15.4	19.2	-	-	-	19.2	7.7

(4) 通勤手段

通勤手段をきいたところ、「自家用車」を使用している人が78.0%と多くなっている。

男女別にみると、男女とも「自家用車」を使用している人が約8割となっている。

年代別にみると、年代が高いほど「自家用車」の使用が少なくなる傾向にあり、「70歳以上」で「徒歩のみ」が15.4%、「自宅（自営など）」が19.2%と他の年代に比べて多くなっている。

図表 9-4(1) 通勤手段<複数回答>

(単位：%)

		徒歩のみ	自転車	自家用車	バス	電車・鉄道	自宅(自営など)	その他	無回答
全 体 (N=550)		4.7	4.9	78.0	0.5	1.8	6.2	0.4	8.5
性 別	男 性 (N=280)	4.3	5.7	76.1	0.7	3.2	7.5	0.4	8.2
	女 性 (N=270)	5.2	4.1	80.0	0.4	0.4	4.8	0.4	8.9
年 代 別	29歳以下 (N=46)	4.3	4.3	84.8	2.2	2.2	-	-	6.5
	30歳代 (N=85)	4.7	9.4	83.5	-	2.4	2.4	-	5.9
	40歳代 (N=138)	1.4	1.4	86.2	1.4	1.4	0.7	0.7	9.4
	50歳代 (N=136)	6.6	6.6	74.3	-	2.9	4.4	-	13.2
	60歳代 (N=119)	4.2	1.7	71.4	-	0.8	16.8	-	5.9
	70歳以上 (N=26)	15.4	15.4	53.8	-	-	19.2	3.8	3.8

勤務地別の通勤手段をきいたところ、砺波市内は「自家用車」が66.4%と多く、「徒歩のみ」が9.3%、「自転車」が7.5%となっている。

小矢部市、南砺市、高岡市、射水市へは「自家用車」が大半を占めているが、富山市へは「電車・鉄道」が15.2%、「バス」が9.1%と公共交通を利用している人も見受けられる。

図表 9-4(2) 通勤手段【勤務地別】<複数回答>

(単位：%)

	徒歩のみ	自転車	自家用車	バス	電車・鉄道	自宅(自営など)	その他	無回答
全体 (N=550)	4.7	4.9	78.0	0.5	1.8	6.2	0.4	8.5
砺波市 (N=280)	9.3	7.5	66.4	-	-	12.1	0.4	11.4
小矢部市 (N=29)	-	3.4	86.2	-	-	-	-	13.8
南砺市 (N=78)	-	3.8	91.0	-	-	-	-	6.4
高岡市 (N=85)	-	1.2	97.6	-	2.4	-	-	2.4
射水市 (N=21)	-	4.8	90.5	-	-	-	-	4.8
富山市 (N=33)	-	-	78.8	9.1	15.2	-	-	6.1
その他富山県内 (N=7)	-	-	71.4	-	14.3	-	14.3	-
金沢市 (N=9)	-	-	88.9	-	11.1	-	-	-
その他石川県内 (N=3)	-	-	100.0	-	-	-	-	-
富山・石川県以外 (N=5)	-	-	60.0	-	20.0	-	-	20.0

(5) 通勤可能範囲

現在就業中もしくは現在就職活動中の602人に砺波市に住みながら転職（就職・転業）する場合の通勤可能範囲をきいたところ、「自宅の近隣付近」が5.5%、「砺波市内」が16.8%、「南砺市・小矢部市まで」が16.4%、「高岡市・射水市まで」が25.6%、「富山市まで」が17.1%、「金沢市まで」が8.8%などとなっており、自宅の近隣付近から砺波市内までが22.3%、高岡市・射水市までが58.8%となっている。

男女別にみると、男性は「富山市まで」が23.2%、「金沢市まで」が12.9%と女性に比べて多く、女性は自宅の近隣付近から砺波市内までが30.4%と男性に比べて多くなっている。

年代別にみると、年代が高いほど自宅の近隣付近から砺波市内までが多くなっている。一方、「29歳以下」で「富山市まで」が32.1%と多い。

図表 9-5 通勤可能範囲<単数回答>

(単位：%)

	自宅の近隣付近	砺波市内	南砺市・小矢部市まで	高岡市・射水市まで	富山市まで	金沢市まで	県内全域	その他	無回答
全体 (N=602)	5.5	16.8	16.4	25.6	17.1	8.8	2.2	1.5	6.1
性別									
男性 (N=302)	4.3	9.9	13.2	24.8	23.2	12.9	3.6	1.7	6.3
女性 (N=300)	6.7	23.7	19.7	26.3	11.0	4.7	0.7	1.3	6.0
年代別									
29歳以下 (N=56)	-	8.9	12.5	28.6	32.1	10.7	3.6	1.8	1.8
30歳代 (N= 89)	3.4	12.4	16.9	33.7	14.6	12.4	3.4	-	3.4
40歳代 (N=140)	4.3	12.1	22.1	28.6	21.4	5.7	2.9	-	2.9
50歳代 (N=143)	1.4	19.6	13.3	31.5	16.1	9.1	1.4	2.1	5.6
60歳代 (N=130)	12.3	23.1	18.5	14.6	11.5	10.0	0.8	2.3	6.9
70歳以上 (N=44)	13.6	22.7	6.8	9.1	9.1	4.5	2.3	4.5	27.3

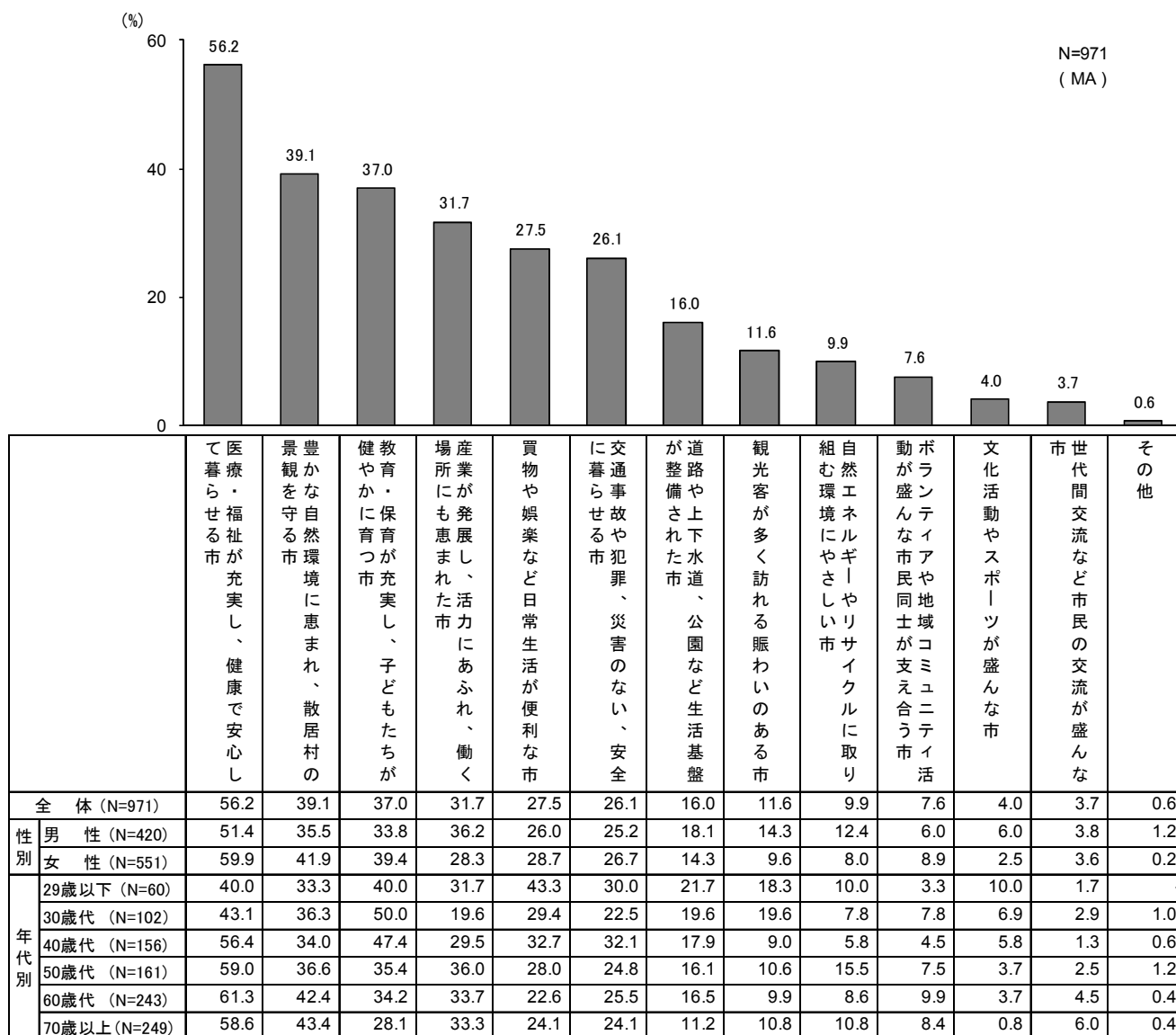
10 市の将来像

砺波市の将来像としてふさわしいと思うものについてきいたところ、「医療・福祉が充実し、健康で安心して暮らせる市」が56.2%と最も多く、次いで「豊かな自然環境に恵まれ、散居村の景観を守る市」が39.1%、「教育・保育が充実し、子どもたちが健やかに育つ市」が37.0%、「産業が発展し、活力にあふれ、働く場所にも恵まれた市」が31.7%の順となっている。

男女別にみると、男性は「産業が発展し、活力にあふれ、働く場所にも恵まれた市」が女性に比べて多く、女性は「医療・福祉が充実し、健康で安心して暮らせる市」、「教育・保育が充実し、子どもたちが健やかに育つ市」が男性に比べて多くなっている。

年代別にみると、「29歳以下」は「買物や娯楽など日常生活が便利な市」が43.3%、「30歳代」は「教育・保育が充実し、子どもたちが健やかに育つ市」が50.0%とそれぞれ最も多くなっており、それ以上の年代は「医療・福祉が充実し、健康で安心して暮らせる市」が最も多くなっている。

図表 10 市の将来像<複数回答>



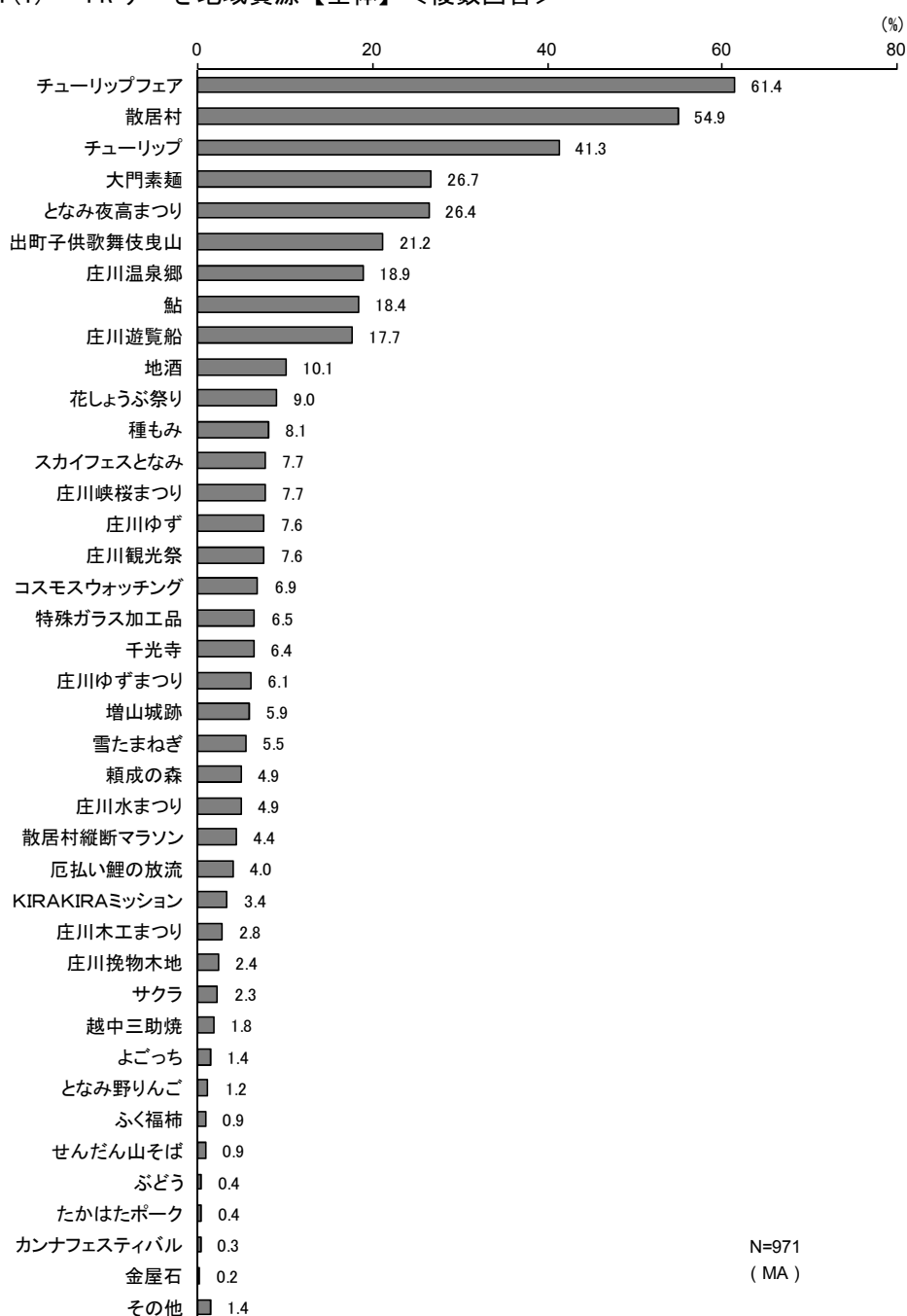
11 PRすべき地域資源

砺波市の地域資源や祭り・イベントで、市外の人に自慢でき、県外に積極的にPRすべきだと思うものについてきいたところ、「チューリップフェア」が61.4%と最も多く、次いで「散居村」が54.9%、「チューリップ」が41.3%、「大門素麺」が26.7%、「となみ夜高まつり」が26.4%の順となっている。

男女別にみると、男性は「チューリップ」や「鮎」、「地酒」などが女性に比べて多く、女性は「チューリップフェア」や「散居村」、「花しょうぶ祭り」が男性に比べて多くなっている。

年代別にみると、各年代で「チューリップフェア」、「散居村」、「チューリップ」が上位3項目となっている。また、年代が低いほど「となみ夜高まつり」が多く、年代が高いほど「出町子供歌舞伎曳山」が多い傾向にある。

図表 11(1) PRすべき地域資源【全体】〈複数回答〉



図表 11(2) PRすべき地域資源【性別・年代別】＜複数回答＞

(単位：%)

	全 体 (N=971)	性別		年代別					
		男 性 (N=420)	女 性 (N=551)	29歳以下 (N=60)	30歳代 (N=102)	40歳代 (N=156)	50歳代 (N=161)	60歳代 (N=243)	70歳以上 (N=249)
チューリップフェア	61.4	56.2	65.3	65.0	57.8	55.1	53.4	65.8	66.7
散居村	54.9	51.7	57.4	51.7	49.0	49.4	53.4	60.9	56.6
チューリップ	41.3	45.0	38.5	46.7	42.2	48.1	47.2	39.9	32.9
大門素麺	26.7	24.8	28.1	26.7	24.5	34.6	32.3	24.7	20.9
となみ夜高まつり	26.4	25.5	27.0	38.3	39.2	31.4	28.6	20.6	19.3
出町子供歌舞伎曳山	21.2	21.0	21.4	8.3	12.7	16.7	22.4	25.5	25.7
庄川温泉郷	18.9	18.8	19.1	10.0	14.7	15.4	20.5	23.5	19.7
鮎	18.4	21.7	16.0	25.0	14.7	22.4	20.5	15.6	17.3
庄川遊覧船	17.7	19.8	16.2	11.7	14.7	10.3	14.3	25.5	19.7
地酒	10.1	14.0	7.1	10.0	9.8	12.8	13.0	9.5	7.2
花しょうぶ祭り	9.0	6.9	10.5	6.7	5.9	3.2	8.1	11.5	12.4
種もみ	8.1	9.3	7.3	1.7	4.9	2.6	5.0	9.1	15.7
スカイフェスとなみ	7.7	7.1	8.2	5.0	6.9	14.7	8.1	7.8	4.0
庄川峡桜まつり	7.7	6.2	8.9	3.3	6.9	3.8	8.1	10.7	8.4
庄川ゆず	7.6	7.4	7.8	5.0	1.0	6.4	8.7	8.2	10.4
庄川観光祭	7.6	7.9	7.4	8.3	7.8	5.1	5.6	9.1	8.8
コスモスウォッチング	6.9	6.2	7.4	11.7	6.9	8.3	6.2	6.2	6.0
特殊ガラス加工品	6.5	4.5	8.0	6.7	2.9	5.1	3.7	7.4	9.6
千光寺	6.4	6.0	6.7	6.7	2.0	4.5	5.0	6.6	10.0
庄川ゆずまつり	6.1	4.3	7.4	-	1.0	1.9	3.1	8.2	12.0
増山城跡	5.9	6.0	5.8	3.3	1.0	5.8	8.1	5.8	7.2
雪たまねぎ	5.5	3.1	7.3	5.0	5.9	6.4	5.0	4.5	6.0
頼成の森	4.9	4.5	5.3	1.7	2.0	4.5	3.7	7.0	6.0
庄川水まつり	4.9	5.0	4.9	8.3	6.9	3.2	4.3	4.9	4.8
散居村縦断マラソン	4.4	5.0	4.0	5.0	5.9	4.5	1.2	4.1	6.0
厄払い鯉の放流	4.0	3.8	4.2	5.0	2.9	3.2	2.5	6.2	3.6
KIRAKIRAミッション	3.4	2.9	3.8	8.3	4.9	3.8	2.5	3.3	2.0
庄川木工まつり	2.8	3.8	2.0	-	-	-	1.9	4.9	4.8
庄川挽物木地	2.4	2.9	2.0	-	2.0	1.3	1.2	3.3	3.6
サクラ	2.3	1.7	2.7	3.3	1.0	1.3	1.2	3.3	2.8
越中三助焼	1.8	1.2	2.2	-	1.0	2.6	1.2	2.9	1.2
よごっち	1.4	1.4	1.5	-	1.0	1.9	-	0.8	3.2
となみ野りんご	1.2	1.2	1.3	-	1.0	1.3	-	0.8	2.8
ふく福柿	0.9	1.0	0.9	1.7	1.0	0.6	-	-	2.4
せんだん山そば	0.9	1.0	0.9	1.7	-	1.9	0.6	0.4	1.2
ぶどう	0.4	-	0.7	-	1.0	0.6	-	0.8	-
たかはたパーク	0.4	0.5	0.4	1.7	1.0	-	1.2	-	-
カンナフェスティバル	0.3	-	0.5	1.7	-	-	-	0.4	0.4
金屋石	0.2	-	0.4	-	-	-	0.6	0.4	-
その他	1.4	1.0	1.8	3.3	3.9	1.9	1.2	-	1.2

12 行財政運営の方向性

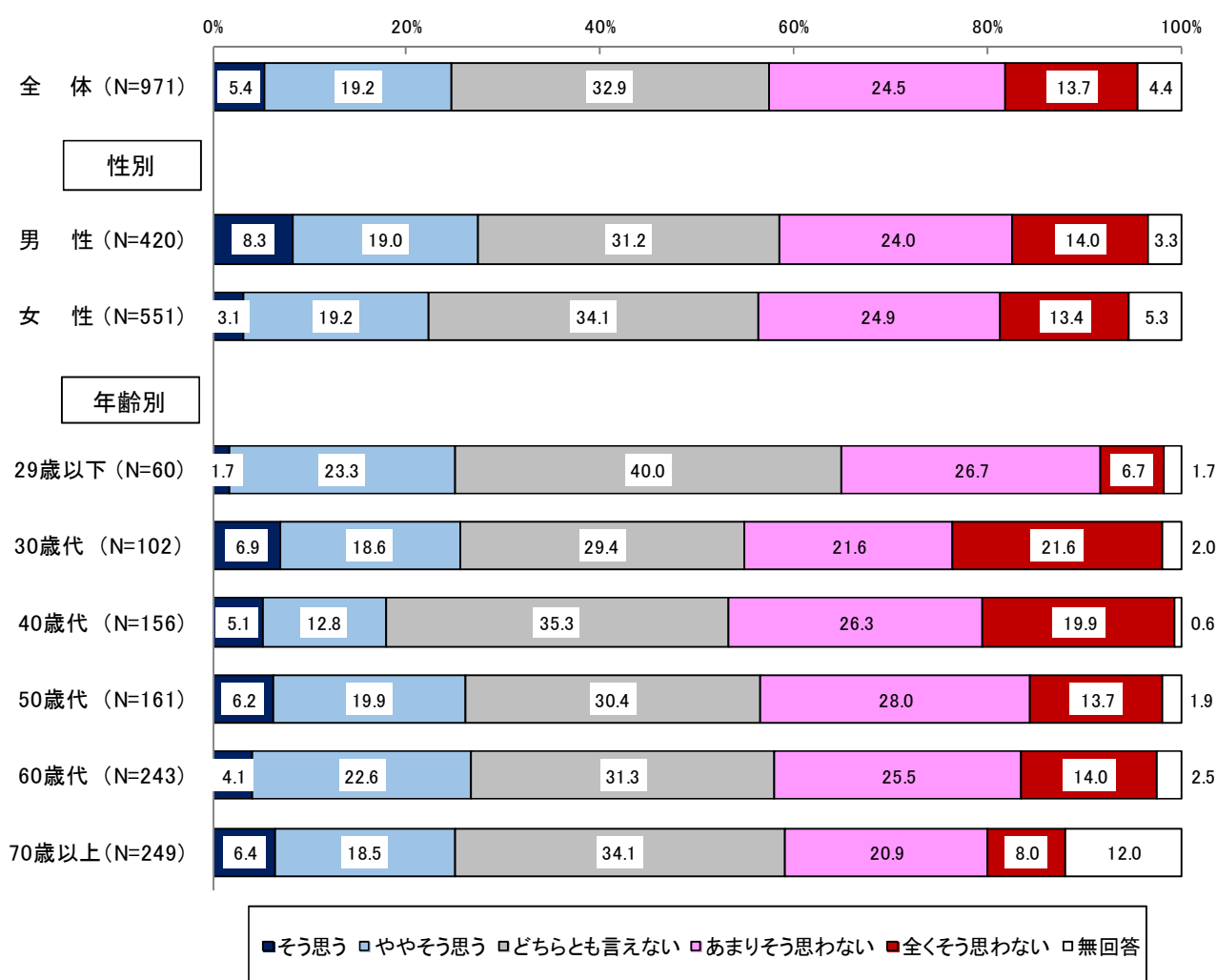
(1) 自己負担の増加

「行政サービスの水準を維持するためには、自己負担や税負担が増えてもやむを得ない」という考えについてその賛否をきいたところ、「そう思う」が5.4%、「ややそう思う」が19.2%と肯定的な意見が24.6%、「あまりそう思わない」が24.5%、「そう思わない」が13.7%と、否定的な意見が38.2%となっている。

男女別にみると、男性は肯定的な意見が27.3%と女性に比べて多くなっている。

年代別にみると、「40歳代」で否定的な意見が46.2%と他の年代に比べて多くなっている。

図表 12-1 行財政運営の方向性【自己負担の増加】＜単数回答＞



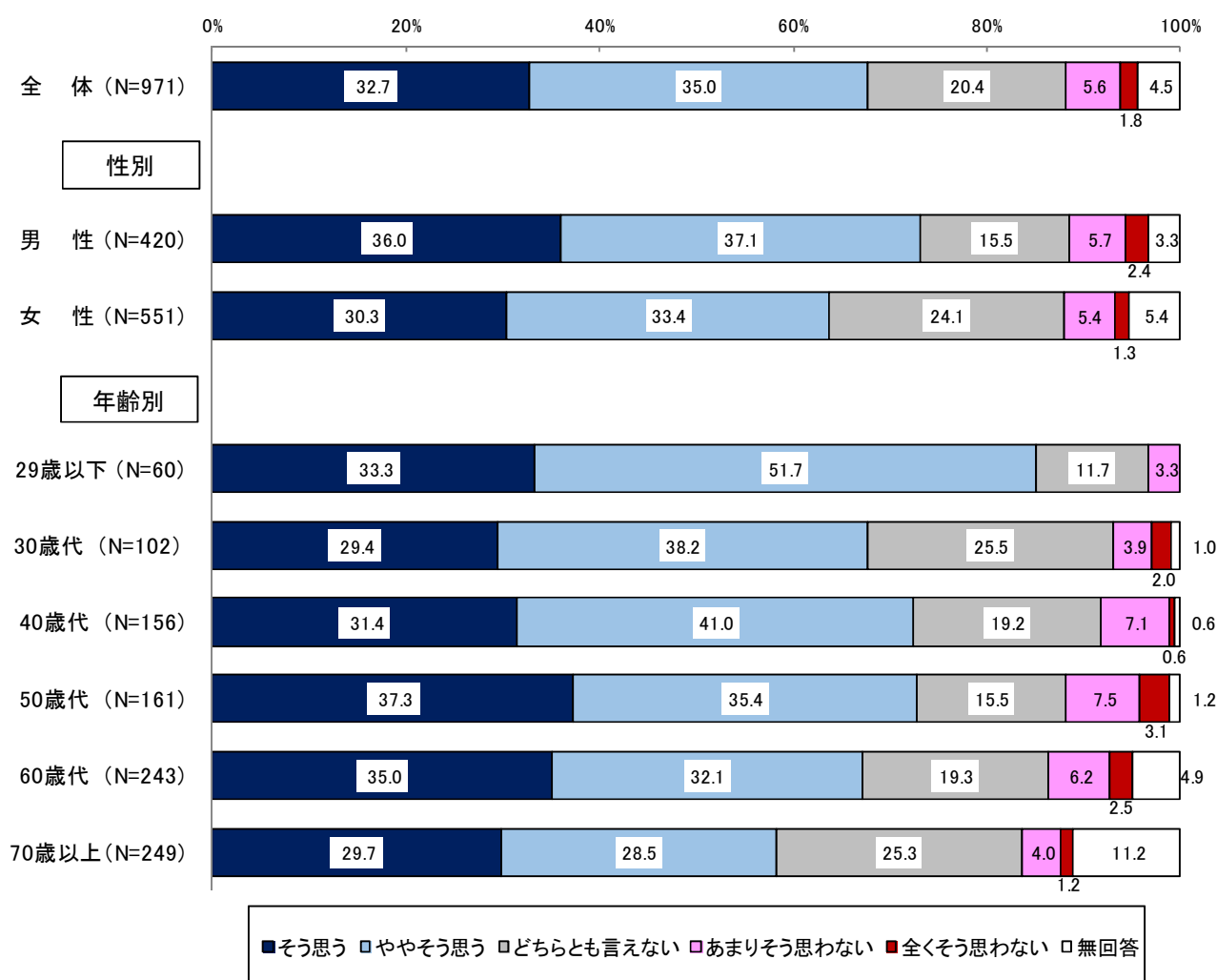
(2) 優先順位による重点化

「全ての事業やサービスをこれまで通り行うのは難しいため、優先順位をつけて重点的、効率的に実施すべきである」という考えについてその賛否をきいたところ、「そう思う」が32.7%、「ややそう思う」が35.0%と肯定的な意見が67.7%、「あまりそう思わない」が5.6%、「そう思わない」が1.8%と、否定的な意見が7.4%となっている。

男女別にみると、男性は肯定的な意見が73.1%と女性に比べて多くなっている。

年代別にみると、「29歳以下」で肯定的な意見が85.2%と多く、「30～60歳代」でも約7割と多い。

図表 12-2 行財政運営の方向性【優先順位による重点化】＜単数回答＞



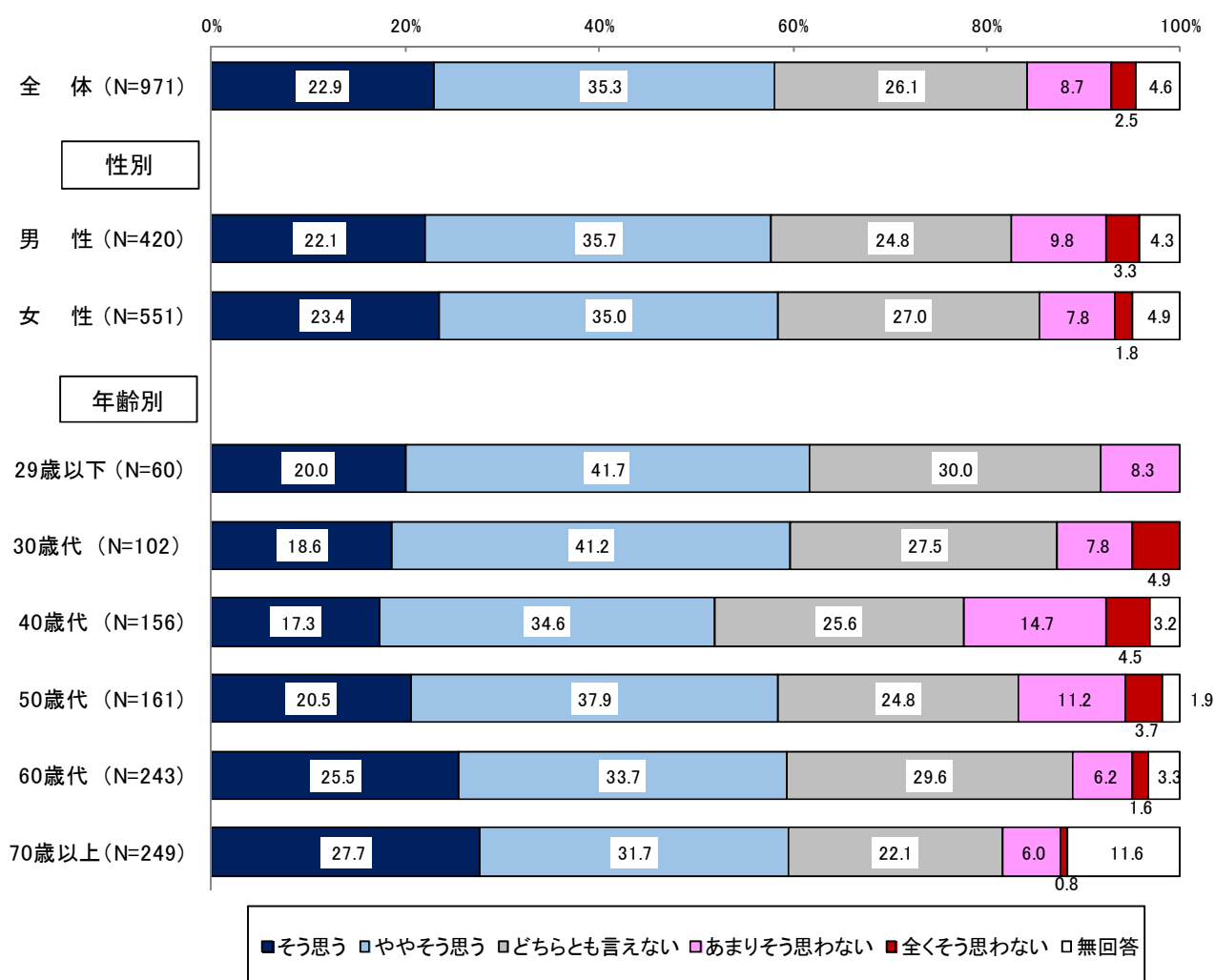
(3) 住民との協働の推進

「サービスを行政のみで行うことは難しく、行政と住民が役割を分担して協働で取り組むべきである」という考えについてその賛否をきいたところ、「そう思う」が22.9%、「ややそう思う」が35.3%と肯定的な意見が56.2%、「あまりそう思わない」が8.7%、「そう思わない」が2.5%と、否定的な意見が11.2%となっている。

男女別にみると、大きな差はみられなかった。

年代別にみると、「40歳代」を除くすべての年代で、肯定的な意見が6割前後となっている。一方、「40歳代」は否定的な意見が19.2%と他の年代に比べて多くなっている。

図表 12-3 行財政運営の方向性【住民との協働の推進】〈単数回答〉



13 今後のまちづくり等に対する自由意見

■笑顔があふれる福祉のまちづくりに関すること

女性	60～69 歳	高齢者がこれから増えますが、健康寿命を延ばし維持できるよう、軽い運動をすることと、健康チェックを地道に呼びかけて下さい。元気な年寄りも生産性は低くても消費性は結構高いと思います。
女性	70 歳以上	ウォーキングコースをつくって歩く（約 15～20 分位）。短いコースで夢の平とか庄川町の舟戸ダムの所、近い所での歩こう会等。自転車コース、庄川大田柳原までの河原の道を守るなど。
女性	40～49 歳	いつも総合病院の待ち時間が長く、病人にはきついので、南砺市、小矢部市など近隣の大病院のレベルアップを図り、砺波総合病院の混雑を軽減してほしいです。
女性	40～49 歳	保育園の充実により、若い家族が住みやすくしてほしい。
女性	40～49 歳	子どもの数が減っているとか、財政状況が厳しくなっているという事情はわかりますが、だからと言って小中学校や保育所、幼稚園の統廃合を急がないでください。統合して失敗あるいはうまくいかないという話を聞いたので。
女性	40～49 歳	知人に第一子が入園してすぐに妊娠がわかったため、わずか半年でやっと少し保育園に慣れたのにやめさせられ、仕事場ではマタハラにあった。こういう状況では、もうすぐ適齢期の娘には砺波で結婚して子育てしてとは勧められない。
女性	70 歳以上	人口減少は区内を見ても 1～2 人と少ない。庄東地区は幼稚園施設はあるが、7～8 人しか入園しません。私立の保育園が少ないので併設はできないのでしょうか。
女性	40～49 歳	砺波の四季折々の景色を眺め、ここに住んで良かったと実感していますが、核家族で、今後の不安も多い。学童保育は小学校 3 年生まで、それ以降の特に長期の学校の休み期間帯をどうしたものか頭を悩ませています。収入も減らしたくないけど、転職するか、子どもを丸一日家で留守番させるか、祖父母と同居ならこのような不安はあまりないかとも思います。現在新興住宅地も増え、私と同じような悩みをお持ちの方が多いのではないかと思います。
女性	30～39 歳	福祉の充実を図り、「住みやすいまち」にすれば若者の流出を抑えられるのではないかと。特に子育て環境は重要だと思います。日曜保育、病児保育、21 時までの延長保育がある点で南砺市に引っ越すことも検討しました。そこを整備すれば移り住む人もいるのではないかと思います。 →確認したところ、H27.9.8 現在で南砺市において行われているサービスは、病後児保育及び 19 時までの延長保育でした。
女性	40～49 歳	フルタイムで働く上で保育所は 3 月末まで入所できるのに対し、学童保育は小学校入学者が対象。そのため、子どもを預ける場所を探すのにかなり苦労した。他地区ではすぐ入所できる人もいて格差があるのに納得できなかった。女性の働きや、子育て環境に施策を希望。
男性	29 歳以下	人口増加につなげるため、子ども一人生まれるときの補助をもっと考えてほしい。20～30 代でもっとまちを気づけるイベントなど PR すべき。
女性	30～39 歳	子育てについても祖父母頼みであり、近隣に祖父母がいない者にとってはとても充実したサービスがあるとはいえないと思います。
男性	60～69 歳	少子高齢化や人口減少が進んでいくと思われますので、子育て支援の充実を図り、若者が増加するような砺波市になってもらいたい。
男性	50～59 歳	二人目の子どもから医療費 18 歳まで無料化など、子育て対策を充実させ人口減少抑止対策を行わないとますます高齢化してしまう。
女性	60～69 歳	保育園や幼稚園の無料化はいかがでしょうか。
女性	50～59 歳	子育てしやすい地域を望みます。施設の充実、若い人達が安心して子どもを育てられるようにしてほしい。医療費や学費など金銭的に子どもを産むのをあきらめることがないようサポートしてほしいです。
男性	70 歳以上	私のまわりに結婚されずに独立していない方々が見受けられ、大きな課題である。子育てには手厚い支援が必要だと思います。
女性	40～49 歳	他市町村は大規模化の保育所がつくられていますが、地域に根ざした小中規模を望みます。子育てができる企業行政の支援があれば良いと思います、働いている人ばかり

		優遇されるので家庭で子育てをしている人こそ、金銭面の援助があっても良いのではと思います。
男性	30～39 歳	砺波の病院に未熟児でも産める病院がなく、近くでも厚生連まで連れて行かないといけないのはどうか。砺波の人口を増やしたいのなら産める病院、見てくれる病院がないとダメなのではないか。 →砺波総合病院では、NICU（新生児集中治療室）3床を有しており、未熟児の出産等に対して24時間体制で対応しています。
男性	30～39 歳	3人目の子から特別優遇対策（思い切りの良い、中途半端では意味がない）
女性	40～49 歳	愛知県長久手町にある「モリコロパーク」のように天候に左右されず、100～200円で入れる無料のアスレチック公園が雪の降る砺波市にもあれば良いと思う。また親子で学習、交流もできる施設が他県にもあるので建設してほしい。 また南砺市にあるような学童以外で預かってくれる施設がほしい。人数制限で入館できなかった幼児や土曜日など学童がない日も預けるとうれしいです。 なかなか言いにくい事なので、このようなアンケートは必要だと思います。
女性	50～59 歳	子ども達が雨天晴天でも遊べる大きな施設、自然があると良いと思います。子どもの国みみたいなどころがあると若い人も転入してくるかもしれない。
女性	60～69 歳	孫がいるので子育ては大変。仕事も休みにくい。
女性	60～69 歳	社会が豊かになればなるほど人の心は楽をしようとしみます。子どもを育てるということは、経済的にも、体力的にも大変な苦勞を注がなくてはなりません。決して楽なことではないですが、幼児をみていると、とても無邪気で純真で周りの大人のまねをしながら、物事を覚えていく様子を見ていると、何事にもかえがたい宝のように思います。子どもは社会の宝です。
女性	70 歳以上	高齢者の健康維持のため、運動をとり入れた趣味を普及したらどうか。負担がかからないよう長生きする対策。
女性	50～59 歳	障害者に対して配慮が少ない。リハビリ施設が少ない。障害者の雇用施設が少ない。
男性	50～59 歳	障害者の待遇をもっと良くお願いします。道路の整備など。
不明	不明	障害者の就労に力を向けてほしい。職場の（会社側）対応の強化（パワハラ問題、虐待、いじめ等）を進めてほしい。
男性	60～69 歳	年金が少なくて生活できない。
男性	60～69 歳	介護保険と施設業者への補助金の格差。

■「人」と「心」を育むまちづくりに関すること

女性	70 歳以上	私は74歳の高齢者ですが若い世代の息子夫婦のサポートをし、孫達も砺波や家族が大切であるとサポートもきっと良い方向だったと思います。それぞれの立場で助け合い、できることをして豊かな安心のある砺波市であることを望んでいます。
男性	70 歳以上	小中高一貫の特色ある学校。子育て支援の充実。若い世代を呼び込むための積極的な施策を望む。
女性	30～39 歳	情報の公開。子どもへの教育
男性	40～49 歳	専門学校や大学などの学校ができたなら若者が増えるのではないかと。
女性	40～49 歳	幼稚園、小学校の教師の質の向上。生徒数が少ないところにも優秀な教員を入れてほしい。
男性	50～59 歳	高等専門学校、大学、研究機関等、高等教育機関の誘致、共同設立。城端線の利用促進のための施策、あわせて市営バスの乗車率向上のための努力など、1次2次交通網の充実、自動車自家用車に頼らなくても、少なくとも市内間の移動は不自由しない環境の街にできること。産業も大切だが、それ以上に年齢を問わず人を育てられる人材の供給ができる街になること。とにかく人作り、教育の充実、社会人を含めて。
女性	60～69 歳	義務教育の過程の中に、地域の良さや現状の問題など学ぶ場をより充実させた授業にする。子ども達が地域の良さを知ると大学卒業後地元に戻ってくると考え「郷土を知る」場を大切にしてほしい。
女性	50～59 歳	専門学校や大学など砺波市にあれば良いのでは。

女性	50～59 歳	最近、まなび交流館を利用することが多くのですが、なぜ市民が使いたい土曜の夜と日曜日が閉館なのでしょう。せつかくの交流館、是非是非使用したいです。土日の交流したい日、5時に終わりまた閉館日になるのでしょうか。
女性	60～69 歳	サークル教室（市）施設の老朽化、耐震化などで利用できなくなった、また少なくなった。
男性	40～49 歳	サイクリングロード、キャンプ場。体育センター設備。田植えをしてなくても水を張ってほしい。県外ナンバーの車が多いが、もっと来ると思う。
男性	40～49 歳	スポーツにより、力の入れ方があまりにも違いすぎる。他の市では、学校での公共施設使用料が無料などもあったりする。砺波は、体育館を使用するスポーツは強いが、外でのコートを使うスポーツが指導者がいるところだけ強く、施設がないため、他の市へ行っている。市のスポーツを全体的にレベルアップしてほしい。
女性	60～69 歳	私は趣味でボウリングをやっています。砺波市にはボウリング場がありません。ぜひとも砺波市にボウリング場の誘致をお願い申し上げます。
男性	50～59 歳	体育施設（グラウンド等）を夏季冬季、他県の大学生等に利用してもらおう。また、空き家に宿泊してもらおう。夏季合宿、冬季合宿としての活用
女性	70 歳以上	地区民運動会は1日でなくてもよい。半日でよいと思う。
男性	30～39 歳	スポーツ施設の充実

■庄川と散居に広がる快適なまちづくりに関すること

男性	70 歳以上	砺波の自然を守っていくことが永く発展していくのではないのでしょうか（山、川、森）。
女性	70 歳以上	公害と思われる黒煙が発生しているのを見かけます。この美しい水と緑と花のまちで空気の澄み切った空の下で大きく深呼吸ができれば最高。
女性	30～39 歳	砺波に住んでいて一番嫌いなのはカラスの多さです。県外から来ましたがあまりの多さ、それに伴う糞の汚さは異常です。小さい子がいますが、歩道が汚すぎて歩くのとはばかれます。苦情の問合せをしても管轄やら北電に頼めやら全く住人のことを考えていると思えません。今、現在大変気持ち悪い、住みにくい状況だということをおわかっていただきたいです。
男性	40～49 歳	花と緑の銀行が中心となって、施設等には花の苗が配られています。一般家庭向けにも定期的に花の苗等を格安にて販売をしてほしい。チューリップだけでなく四季折々の花があちらこちらで見られたらと思います。
女性	50～59 歳	新高岡駅停車の臨時のかがやきと城端線の繋がりを良くしてほしい。（城端線を増やしてほしい）。東京日帰りでかがやきに乗りとうとしたが、結局、新高岡駅での繋がりの悪さから、はくたかになってしまった。昼市、夕市みたいの今はやりなのではないか。商店街が賑やかになると思います。昔あったアーケード街の夕市は良かったのになと思います。今は「ちょっとよってかれま」になってガレージでやっていますが、外から見えない。
男性	60～69 歳	主要道路網の完全四車線化と自動車専用道路の確保（交通利便性の確保）（災害時対応）。庄川堤防、合口ダム～高岡市境を桜でつなぐ。庄川桜道路を創設し、右岸及び左岸に早咲と遅咲を混植する。現状は中途半端である。
男性	70 歳以上	公共交通の利便性向上。
女性	70 歳以上	地域と中心部の交通が不便なため、運転不可能者の買い物、病院へ、行政機関への交通充実のため、バス路線を変更してほしい。
男性	60～69 歳	バス、電車など交通機関が悪い。雪に強いまちづくり。
女性	70 歳以上	散居村は大変素敵ですが、交通面是最悪です。村では一人一台自家用車ですが、主人は他界し、息子は病気で運転が不能なため大変不便です。なかなか理解してもらえない現状です。
女性	40～49 歳	学生が高校大学に進学する交通手段が充実していないため住居を移転してしまい、それが砺波市の若者が流出する原因となっているようです
女性	70 歳以上	まちへ出るにもバスの便が不便になりました。
男性	50～59 歳	時々JR城端線を利用しますが、新幹線との利便性が悪い。バスも同様で、結局マイカーに頼らざるをえない環境にあります。近隣の高岡市、南砺市、小矢部市との公共交通機関利用の促進に向けて具体的に協議して下さい。政府指定都市はやはり交通公

		共機関の運営が良いと思いますので、ぜひ参考にして下さい。
男性	30～39 歳	高波地区は砺波の端にあるせいか、融雪がない道もある。小学校まで遠いのでバスがないときついため、高波地区全体にバス定期券の補助を。
男性	60～69 歳	交通の便が悪い。除雪が悪い。老後が不安。
男性	60～69 歳	空き家対策
女性	60～69 歳	子どもがいるが都会で生活していて砺波へ帰ってくるかどうかわからない。高齢者の一人暮らしで空き家が多くなりそうで、今後が不安。
女性	30～39 歳	県外出身者で、空き家バンクを利用したいが、情報が少ない。ウェブサイトの更新が遅い。あまり積極的に紹介してくれるような対応ではなかった。縁があって砺波に来て、すごく気に入っていますが、アパートに住むしか選択肢がなくて悲しい。空き家バンクの登録が増えるように、空き家オーナーの意識改革のようなものも必要なのではないですか個人で交渉するのはハードルが高すぎる。アパートに住んで市内居住者になったら、定住促進の補助金も使えなさそうなものも不満です。
女性	50～59 歳	安全で住みよい砺波市ですとあってほしい。
男性	40～49 歳	農村地区では、スピード超過等危険な運転をする車が多いので、子どもが安全に歩いて行ける公園をたくさん増やしてほしい。
女性	50～59 歳	砺波市は平和でどの国の人も仲良く安全な地区にしてほしいです。また、派遣雇用ばかりで収入が少なく、結婚や出産についても不安、年金では生活できない。
女性	50～59 歳	全国的にも住みやすさはいつも上位である。今後災害のこともあり、人口は増加の方向にあるのではないのでしょうか。人は誰でも安全安心を求めるものだと思います。自分が高齢になった時に砺波で良かったと思える市であってほしい。
女性	70 歳以上	のどかな散居村の中に工場建設は景観上も良くないので企業団地、工業団地に集めてほしい。働く従業員も文化の違う人達の宿舎も建設されるため地域住民は困惑している。
男性	40～49 歳	犯罪のない砺波市を望む。
女性	40～49 歳	庄西中の自転車の乗り方が危なく、押ボタン信号をつけてほしい。何度も飛び出しを見ている。
女性	40～49 歳	郊外にたくさんの商業スペースが広がっており、便利にはなったが、生活レベルとのバランスがとれていないように思います。お年寄りの動ける範囲は限られており、長い期間、無理なく維持できるような落ちついたまちに戻ってほしいです。子どもにとっても治安や風紀などが心配です。
女性	70 歳以上	高齢者の一人暮らしも増えているので、高齢者や住民がより安心して暮らせるように犯罪をなくす、防ぐために地域全体で取り組んでほしい。
女性	30～39 歳	除雪装置をしっかりとしてほしい。一部だけ除雪装置がついていて怖く感じる。歩道がないため子どもが歩けない。通学時が心配。小学校に通うのに、遠方の子だけ自費でバスに乗らなくてはいけないので不公平に感じる。
女性	29 歳以下	除雪にもっと力を入れるべき。国道が優先なのはわかるが、市道もしてほしい。2～3日除雪機が来ないのは当たり前なのか。

■魅力ある産業が発展するまちづくりに関すること

男性	70 歳以上	農業後継者の育成。積極的な農業施策の展開（玉葱＋α）。企業誘致による雇用の場の確保（既存の大型スーパー以外）
男性	30～39 歳	農業振興で酒米を作る。酒米を小中高の授業で発酵させ酒を作る。20 歳の祝いで振る舞う。酒粕はたかはたボークのエサとし育てる。
女性	40～49 歳	木製品はデザイン性の高いシンプルなものがあります。庄川木工の技術にデザイン性の幅を広げられることと若者をターゲットにした商品アピールができればと思います（製作者とデザイナーのコラボ）。
女性	70 歳以上	映画館があってもよい。家族ぐるみで来られても子ども向けの木工とか、チューリップの花ピラを形どった手芸か工作を作ってお土産にもって帰れる作品作りを親子で行えれば楽しい（壁掛けとか、色紙額など）。
女性	70 歳以上	企業の誘致。働く場所が多くあること。
男性	50～59 歳	働く場所があることが最優先。欲をいうならば研究所のような知的な職場が必要（大

		学・大学院を出ても働く場所がなければ戻ってこない)。
男性	70歳以上	人口増加を図るために県外の魅力ある企業を誘致する。
男性	40～49歳	企業を積極的に誘致して雇用を確保するとともに、税収を上げる。
男性	60～69歳	若者が働ける企業の誘致
男性	70歳以上	砺波の自然あふれる豊富な水資源を活用し、時流に乗った企業の誘致をしてほしい。働く場所や少なくとも人口増につながる未来に光があるのではないのでしょうか。
女性	40～49歳	今後も県外企業を誘致して地元採用して若者が東京など大都市へ流出するのを防止すべき。
男性	70歳以上	工場の誘致、大型ショッピングセンターなど小矢部市両砺波のど真ん中の住民が砺波市を応援してくれる。
男性	70歳以上	私は大企業に来てほしい、大企業だと人もついてくる。YKKのようになれば人口増加は少し良くなると思う。
男性	70歳以上	企業の誘致を積極的に行う。
男性	50～59歳	1部上場企業を誘致して雇用が増え住宅も増えて税収が増える。散居村の景観に投資してもあまり意味が無い。
男性	60～69歳	若者のための職場確保、工場誘致
男性	60～69歳	働く場所を増やして人口増加を考える、また人口流出をなくす対策をとること。
女性	60～69歳	まちづくりや地域活性化にとって欠かせないのは地元の企業や会社、商店、自営業者を元気づけて応援することが大切だと思います。他市の業者を利用するのではなく、まずは地元から元気が出るように採用して地元の活性化を応援してください。地元優先で仕事等ささいなことでも、利用、採用をお願いします。
男性	50～59歳	シルバー人材センターの全年齢版、または派遣管理を行政(市)が完全管理することで、常時労働力を確保して市内企業に安定した労働力を提供し、かつ無収入状態をなくす部門がほしい。派遣会社を行政が運営することによって、全ての派遣会社の解散と公営化が望ましい。
男性	60～69歳	企業の招致、雇用の安定、商店街の活性化、子育て支援の充実を願います。
男性	70歳以上	雇用年齢の高齢化、若者の収入、企業の選択、企業側から見る人材の不足
女性	40～49歳	私も子ども達も生涯生まれ育った砺波市にいたいですが、まず、子ども達が砺波市で就職できるかが問題です。市役所や農業でも身内感が強くて部外者が働けない感じがします。サービス業や職種も他の県や市と比べても少ない感じがします。私も子ども達も高学力ではないのですが、砺波市で働いて生活できればと思います。
男性	50～59歳	生活にはお金が必要なので、若い人の働く場所の確保。老人も年金が少なくなってきて、働き場所を市内で。遠くには有るでは通勤に少しでも時間がかからないよう、そのまに新たに住居をつくる。
男性	60～69歳	中心市街地の店がどんどん少なくなっており、人の歩いているのを見かけない。町の中の店等の内容を若者向きにガラリと変化させる。1階建てとして広く長いものとして中をずっと歩いて行ける(歩道は歩かなくても良い)。
女性	60～69歳	日常生活を送る上で、過疎地にスーパー、コンビニを必ずお願いします。今は車でいざれ歩きになるので。
男性	29歳以下	和食店の増加。タクシー、代行の増加
男性	40～49歳	市街地商店街の活性化をもっと推進すべき。シャッターが閉まったままの店や空店舗が目立ち、景観が良くない。大型店舗の誘致の前に、まずは地域の商店街を優先して考えるべき。存続、維持に莫大な予算を必要とする箱モノ(例えば美術館)は果たして必要なのか。その予算を喫緊に対応しなければならない事案に回すことにより、節約を図ることができると思う。
女性	40～49歳	砺波駅前周辺商店街の活性化。砺波市東部地区にはショッピングセンター、スーパーがないのも不便です。空き家の利用については、再活用や住居者の募集など他の行政で行っている取り組みも参考にして何かアイデアになればと思っています。
男性	50～59歳	駅前に食堂がほしい。
女性	70歳以上	初めて訪れた方へ食事する場所を作ってほしい。
女性	60～69歳	市街地の区画整理は時代に合っていない、無駄が多いと思う。
女性	70歳以上	本当に市内を歩いても寂しいような気持ちになります。

男性	30～39 歳	北陸新幹線開業で必ず砺波市に寄ってもらえる魅力的な市へとになってほしいが、今のところその意気込みが市民としてあまり感じられない。
男性	70 歳以上	散居村風景はここだけの特色であり、安易に観光できる場所、道路アクセスを考え、料理、宿泊場所を考えていけば全国的な注目度となると考える。
男性	70 歳以上	公共交通の利便性向上。他市（高岡・小矢部市・南砺市）とのスポーツ・文化交流。長期滞在型観光の施策。
男性	29 歳以下	砺波市は企業誘致よりも観光面に重点を置き、地域活性化を図ればどうか。散居村、カインヨ、あずまだちは現に住んでいる私でも魅力的に感じ、外部の人たちでもそう思っている人は多いと思います。文化面、自然面、資源を極端なほどPR、また保護、整備を行っても良い。まずは砺波市といえれば何？というコンセプトやブランド化が確立されれば良いと思う。「砺波市＝ノスタルジック」
男性	30～39 歳	イベントや祭りの他市町村、県外へのPR（まず）来てもらい、リピーターを狙う策 チューリップ、ゆず、タマネギなど、メインの畑のオーナー募集（自分の畑だと来る）。夏休み、冬休みを利用した空き家、素泊まり事業（食べ物地域提供）
女性	50～59 歳	住み良いまちであることを積極的にPRしてほしい
女性	60～69 歳	全国住みやすいランキングが8位となったのは砺波市の良いイメージが広まってきたようなので、安心度利便性をさらにアピールして活動を活発にする。
女性	40～49 歳	I・Uターンなど砺波市外に住んで改めて砺波の良さをわかってもらえたら住んでもらえると思う。砺波の良さをもっとアピールすることが必要。マスコミの宣伝を多く利用すれば良いと思う。
男性	40～49 歳	ハッキリ言って観光資源がなく人が呼べないので、全国規模のイベントを引っ張ってきたり、人を呼べる施設を造るなどしないと根本的にダメではないか。市のPRにメディアやマスコミの活用をもっとすべきである。市として人口減少対策として取り組んでいることが全く伝わってこない。例えば市外から移住してもらうのに市の良いところが市外に伝わっていない（PRとにかか発信力が弱い）。もっと大胆な取り組みをしてほしい。既存の枠組みにとらわれた狭い視野のとりくみしかなされていないと思う。
女性	40～49 歳	とても住みやすい地区だと思うので、都会に住んでいる人にもPRして、その人たちが住みやすいような金銭的補助や地域の人々との関わりができるような支援をしたらよいと思う。
女性	40～49 歳	頼成の森のイベントを増やせばよいと思う（年中花が楽しめるような）。チューリップフェアの会場も広くした方がよいと思う
男性	29 歳以下	砺波市にはイベントや祭りがあると、市民としてアピールすることがあっても行政で「こういう出会い」といったPRが少なく感じます。子育て世代として保育園・所も少なく、特に教育環境の施設や選択が少なく感じている。高校受験も幅広く高校を選べれば良いと思う。また行政活動も目玉になる政策を盛り込んでほしい、新幹線に関しても、富山、高岡だけではなく砺波市までもPRしてほしい。
男性	60～69 歳	観光のまち庄川をPR。ゆかたまつり。税制の優遇発信
女性	70 歳以上	地域活性にはイベントが大きな役割を果たすと思います。各地区のお祭りを市外に住む人も里帰りをしてくるようなものを住民も考えなければいけないと思います。例えば一族が顔を合わせる事も結束を強める意味でも大切と思われる。
男性	50～59 歳	女性をターゲットにした歩いて楽しめるまちづくりが重要。チューリップフェアは花面積が少なすぎる。広範囲に渡り一面花の絨毯のコンセプトでも良いのでは。
男性	60～69 歳	商店街の賑わいがないので若者が集まる店があった方がよいと思う。市民が気軽にできるイベントがあったら良いと思う。

■人口減少対策や若者の定住等に関すること

男性	30～39 歳	若い世代が住みたくなるような環境づくりや制度の充実を望みます。
女性	70 歳以上	若者が安心して働き、子育てできるまちづくりを進めてほしい。
女性	70 歳以上	若い人が定住できるまちづくりが大事。そのため働く場所や企業の誘致が必要。若い人たちの出会いの機会を積極的に設けるようにできたらよいと思います。
女性	29 歳以下	若い人が楽しめるような娯楽施設やショッピングモールが充実するとより良いと思います。たま、砺波市内でも地区によって除雪がしっかり行われているところとそうで

		ないところがあるので改善してほしいです。
女性	60～69 歳	やはり若い人たちが希望を持って働き生活できるまちづくりが一番大切なのではないでしょうか。そのために行政ですべきことを実行してほしい。努力を惜しまずしていただきたい。
女性	29 歳以下	砺波は好きです。しかし、アンケートに答えていくうちに、自分が砺波市についてよく分かっていないなと思いました。人口減少対策に向けて若者がもっと砺波について興味を持てるようになれば良いかなと思います。キラキラミッションなど市外の友達も見に来ており、そういうイベントなども興味を持って良いと思います。イオンもオープンし、どうなっていくかわからないので周りを見ていこうと思います。よくわからなくなってきましたが、ありがとうございました。
女性	40～49 歳	TBS ナイナイお見合いに参加してみるのはどうでしょうか。砺波市のPRにもなると思います。時期も大事ですが。
男性	29 歳以下	砺波市に移り住みたくなる、市民が「砺波は良いまち」と言えるまちづくり。企業を誘致し働く場所を増やし保育環境を整えてもらいたい。若い世代が住みやすいまちになれば良いと思います。砺波市の昔から見慣れた散居村の景観はずっと守ってもらいたいです。
男性	60～69 歳	若者に魅力的な職場の確保（企業誘致）。子育て支援の充実が人口減対策に繋がるので力を入れてほしい。
女性	40～49 歳	砺波市は高齢者が多いせいか伝統文化などばかりに力を入れて、若者が好むバンド活動、娯楽場がない。人口を増やすために若者の住みやすい街になってほしいです。
男性	40～49 歳	若い人達が県外から戻ってきたくなるような、他県の人に移住したくなるような地域づくりが必要。小矢部市のようにアウトレットのような誘致を積極的に行い、魅力ある街になれば、将来、福祉を支える若い人達が増えていく気がします。
女性	60～69 歳	独身の若者がたくさんおられるように思います。結婚すればおのずと子どもが生まれて人口が増し、安定した世の中になると思います。南砺市のように出会いの場を多くつくり、もっと力をいれるべきだと思う。
女性	50～59 歳	一人暮らしや空き家が増えていきます。もっと若い世代が増えれば良いと思います。定年で都会から戻って生活するには婦人会、地区の行事など、何かその地区に縛られているようで大変です。もっと行事が少なくなれば良いのですが。特に老人会は大変です。若い人がいなければ、80歳近くでも自治会の役員をしなくてははいけない。
女性	50～59 歳	南砺市のように婚活の場所を設定し、誰でも参加できるよう出会いの場をつくってほしい（県内の人たちも参加できるように）。
女性	60～69 歳	未婚の方に出会いの機会が多くなるよう、これまで以上にイベントを開催したら良いのではないかな。
女性	60～69 歳	地域活性化のために、若者の住みよいまちが第一だと思います。
男性	40～49 歳	まずは独身者の婚姻（男女交際）の機会を増やす。
女性	40～49 歳	独身者が気軽に参加できる出会いの場をつくる。
女性	60～69 歳	若い方に出会いの場をつくって一人でも多く結婚してもらい、人口減少に歯止めを打ちたいです。
女性	40～49 歳	若い人達の働く場所を増やす。お見合いの世話人のように手厚くフォローする体制ができないものか。
男性	60～69 歳	男女の出会いのお世話役があれば良いと思う。個人情報ことは気になるが。
女性	70 歳以上	若者の人事採用が多ければ良い。また婚活支援（若者参加のイベント）
男性	60～69 歳	若者の定住、企業誘致、子育て支援
女性	60～69 歳	若者が結婚しないため独身者が多い、男女の出会いに力を入れてほしい。
男性	50～59 歳	古い考え方が残っていて、住みにくい部分もある。若い世代を認めていくという考えに乏しいのでは。
女性	70 歳以上	市の人口増加は公約であり、是非実現してほしい。

男性	60～69 歳	市が発展・継続させるには、人口増加が必須条件である。国民の人口が減りつづけている中で増加させるのは並大抵ではないが、他の市町村と同じ事をやっても増加にはつながらない。周辺の市町村から若者を集まってもらうための施策（住居・結婚・出産・子育て）に予算配分を上げて取り組む必要がある。特に子育てで優位になる施策が大事である。
男性	40～49 歳	散居村は特徴ある住居形態だが、その維持には予算的にも厳しい。若者の流出を防止するため、恵まれた雇用環境、生活、娯楽環境の充実が必要。また、保育、教育環境で働く世代の負担を減らし、人口流入も視野に入れる。
女性	50～59 歳	地区によって、人口のばらつきがある。そのためサービスが行き届かないことがあり、ますます人口が減っている。
男性	60～69 歳	砺波市には買い物、医療、交通においても便利で住みやすいまちだと思う。7月にはイオンもオープンし、市街地からも若者が集まるのではないかと。そこから砺波市に住みたい人、または移住する人も自然に増え、少子化はなくなると思う。
女性	40～49 歳	人口減少は日本はどこも減少するので仕方ないこと。他の市町村と人口を取り合うことはせず、ここにいる人で幸せに生活することを考えることが必要。
女性	70 歳以上	今後高齢化がますます進むなか、過疎地である庄東地区に老人用の住宅（マンション・ケアハウス）や医療施設を誘致して人口を増やし雇用増を図ればどうか。
男性	60～69 歳	人口減少問題、また農家の後継者問題も重要と思われる。
女性	30～39 歳	砺波市の人口が減っているという実感があまりなく、このアンケートで知りました。ただ、福野や小矢部は転居すると補助があると聞き、砺波ではそのような話を聞いたことがなかったので、他の市が、その内容で成功しているのであれば、まねになるかもしれないが、状況が良くなるならした方が良いと思う。
女性	70 歳以上	人口減少対策。これからの後輩に大人として精一杯がんばり、困難を乗り越えてほしい。
男性	30～39 歳	人口流出する若者の理由として、就業環境が大きく影響していると思います。また、生活環境は若者より高齢者に向けたものが多く、流出の原因になるのではないかと。私は県外の人間で結婚を機に砺波へ来ましたが、若者は出身地が砺波市ゆえに砺波に住んでいるというケースがほとんどではないかと思っています。今後迎える人口減少に対し行政、民間、住民が近い距離で良いまちづくりにしてほしいです。
女性	29 歳以下	お年寄りの援助も大切ですが、もっと子育てに力をいれないと人口減少は止まらないと思います。自己負担が増える事は仕方ないと思っていますが、それがほとんどお年寄りを支えるお金に流れる事が納得できません。
男性	50～59 歳	空き家、休耕農地、豊かな自然環境、少ない自然災害を生かした県外からの移住を促す施策が必要だと思います。特に空き屋休耕農地を活用した「田舎暮らし」をセットとした移住を促してはどうか。そのためには雇用の確保が必要ですが。

■まちづくりの方向性に関すること

男性	40～49 歳	高齢者対策は最少にし、少子化対策、子育て対策を最優先とし、人口増、経済産業の活性化を行ってほしい。それでなければ未来はこない。教育対策に力を置くのは重要なことだが、県外都市部に若い人達を送りだしては意味がない。県内で就職できる場所を作り、若い人に魅力ある街づくりが必要。このためにはショッピングセンター等だけではなく、アミューズメント、風俗業なども受け入れていく地域づくりも今後必要と思われる。
男性	50～59 歳	暮らしやすいまち、安心できるまちとして、ベッドタウンもありかと思っています。すべてに充実したまちとは考えにくく、今後を考えるうえでの選択を。

女性	50～59 歳	今月、大型ショッピングセンターのオープンにより、人の流れがプラスの方向で変わることを期待しています。大切なのは、オープン時の賑わいや、人の流れを絶やさず、砺波に定住する人が増え、若者受けする画期的な企画の提案などの努力をしてもらえるよう期待しています。実際、大阪出身の私が 20 年前に転入した頃の砺波市と比較すると、まちの様子も随分変わりましたが、賑やかな所と閑散とした所の差があり、立地的にも恵まれた場所が閑散としているのは不思議な光景に思えます。「住み良いまちランキング」等で常に上位にランキングされている砺波市ですが、実際住んでいる側としては、それほどでも無いと感じてしまうのはなぜでしょうか。期待を抱いて砺波市を訪れてくれる他府県の人たちに満足してもらい、私も他府県に住んでいる友達に自慢できるような、憧れられる砺波市になるよう、それぞれが努力しなければならないと感じています。
男性	29 歳以下	富山市のようなコンパクトシティにする。カーシェアリングの普及。スマホに対応した行政サービス。（市立図書館）
女性	29 歳以下	車や家にももっていて外出しない印象がある。外出を増やし近所の子、お年寄りなどいろんなふれあい、また人の温かさで丸い、温かい町になれば良いと思う。
男性	50～59 歳	高卒者が戻って来るようなまちづくり。行政主体ではなく NPO や市民が主体となって動くイベントなどのまちづくり。
女性	50～59 歳	安心して老いる事ができるまちであってほしい。美しい野山、平野、川を維持されたし。
女性	50～59 歳	どのまちも似た点で悩んでいると思いますが、まちづくりと聞いて「そのまち」の情景が浮かんでくるのが大事です。富山はそれぞれのイメージは良いですが、各々繋がらないイメージがあり、ぱっとしない印象です。それと食のまちづくり。バス地方のサンセバスチャンのようなイメージで砺波市版ができれば良いと思います。

■地域コミュニティや地域のつながり、3 世代同居等に関すること

男性	60～69 歳	高齢化が進む中で、各地域での魅力ある取り組みの強化。例えば、老人クラブへの補助を増やして地域の活性化に役立てる。
女性	40～49 歳	砺波市の良い点は、犯罪が少なく安心して住めることだと思います。この理由の一つに、地域の繋がりが強く、顔見知りの方が多い点があります。未来の高齢化に向けて、このせっきくのネットワークを生かしたボランティアや有料で高齢者が働くことができる場を提供することが砺波市の未来に繋がるのではないかと思います。
女性	70 歳以上	昔と違って、若い人になるにつれて地区の行事に関して協力が少なくなった（参加する）自分の事が最優先になるように思う。
女性	50～59 歳	市民誰もが気軽に集えるコミュニティスペースが地域があれば良いと思います。
男性	50～59 歳	婦人会の活動はどれも大事だが、やるが多すぎる。県市からも助成があるため、それらを消化するために仕方なくやっけるのが実情である。どこも財政難なのに矛盾を感じる。チューリップフェアも婦人会へ予算をつけず、子どもたちに踊ってもらうのはどうか。その方が見に来る人も増えるのではないか。
男性	40～49 歳	3 世代同居家族として、就業体制と地域行事の量が適切ではなく、他地区への別居等につながっていると思われる。すべて複合的に処置できれば、Uターンが増え、同居が増えれば福祉等の介護負担も軽減されるのではないか。、散居村形態の農業維持も大きな問題ではあるのだが。
男性	60～69 歳	二世帯、三世帯で暮らせる環境づくりの推進。家庭での子ども達へのしつけ重視、わがままな親をなくしましょう。
女性	40～49 歳	三世帯同居による補助やいろいろな特権があるようで三世帯同居家族にはありがたい話ですが、二世帯の親子の核家族ならではの厳しさ（子育て支援・休業等）もあり不公平に思えます。

■行財政運営や公共施設、協働などに関すること

女性	50～59 歳	砺波市の図書館について、市民の意見を無視している。子どもから高齢者まで活用することを考えれば、今までの場所が良いと思う。体育館と図書館のどちらが年齢的に交通の便と色々考えると有効に活用できるか、市民投票、学校区内で学生投票すべきである。
----	---------	--

女性	40～49 歳	図書館の建設を楽しみにしている。民間への業務委託も視野に入れ年中無休や午後 9 時まで開館など、他の市町村にはないサービスの導入を期待している。 砺波駅についても、利便性を高めた駅に、速やかに整備してほしい。
女性	70 歳以上	図書館は現在地近くに計画願います。
男性	60～69 歳	確実に「入」は減り、「出」は増えます。道路や箱物をつくることは制御すべきです。
女性	30～39 歳	チューリップ公園のすべり台を修理してほしい。 → <u>9月4日現在、チューリップ公園のすべり台に故障箇所はありませんでした。</u>
女性	60～69 歳	チューリップ公園の花壇、四季を通して花が植えてあれば良いのにと先日県外の人を案内したとき思った。
女性	30～39 歳	道の駅を小松市並みに充実させてほしい、ハード面は並みだが魅力がない。砺波・南砺市の菓子スイーツ、弁当を多く充実してほしい。チューリップソフトやゆずソフト、よごち定食、ゆべし、そうめん、せんだんそば定食を食券にて販売してはどうか。街中に大型のスポーツ施設が必要。滑川のあいらぶ湯が良い手本です。1Fでは生徒が無料のスペースで勉強し4Fではスポーツ交流が行われ5Fでは風呂に入り施設ではあちこち置くのではなく図書館を含め1箇所に設け、循環バスを通す。
男性	30～39 歳	人口が少なくなる一方、税収が多くまかなえないなら、自己負担を多くするしかない。砺波総合病院が混雑し過ぎている。自己負担を増やせばコンビニ受診のような軽症者を減らせると思う。
女性	60～69 歳	私は三世代世帯なので少しなりとも先を見て、毎日孫の世話をして若者を社会に送り出して毎日自分なりに生きています。そうでない方達は、自分の老後だけを見つめて繋がり少ない社会で不安を感じています。行政のサービスが良くなっても出費が増えるのは考えられないと思います。
男性	60～69 歳	砺波市の行政については満足しています。多くの問題や課題はあるようですが、それは全国的なことで砺波市の行政はできるだけ問題を少なくするようにやっておられると思います。経済的な見直し、高齢化の見直しをもっとやってください。砺波市が経済的に自立している市であってほしいと思います。福祉の量、質を維持するのはこれから大変です。見直すのは仕方ないですが、最低限何とか生きていけるようにしておいてください。
女性	60～69 歳	老人が増え、納税者が減少していくので行政コストを抑える努力が必要。新規の施設建設はやめる。既存の施設を見直す。
男性	70 歳以上	既存の事業も一度リセットし、やらないよりやったほうが良いというのは止める。
男性	70 歳以上	必要のないもの、無駄な事など十分に把握するなどして経費の節約を考慮する。減少分に対しては相応の行政を行えば、ゼロになりませんか。周りを見てのまねごとは省くことです。見栄をはることは決してありません。
男性	70 歳以上	人口や税収、格差拡大は防ぐことが難しいので、まずすべての事業を見直し、ムリムダムラの全減。補助金・負担金を全面見直し、廃止と継続、明確に決断。行政への依存体質、陳情、要望があれば税源の捻出提案を条件とする。市民、議会議員、自治団体支援の意識を変革させる。
男性	60～69 歳	行政から民間に譲れることは民間に移譲する。政令で足下がすくわれる。行政は地に足をつける。商店街はすべて営業するもうけは1円から。各商店は独自の出入り口を作った方がよい。
男性	60～69 歳	市役所とは市民に役に立つ場所であり、与えられた税金で市民のために予算を組み、増税は考えるべきではない。
女性	70 歳以上	ハイレベルな行政サービスを望めば自己負担（税金を含む）が増える、自分の手で生活を苦しくするような生活にはしたくない。
男性	60～69 歳	保育所の民間委託は建設補助金で有利だから市の責任を放棄してはならない。チューリップ公園や四季彩館に莫大で無駄な投資をするべきではない。観光客より砺波市民の暮らしにお金を回してほしい安心安全に老後を暮らせるよう税金を使ってほしい。
男性	40～49 歳	これ以上箱物は要らない。道路整備や除雪などしっかりした対応を。危ない空き家はすぐ撤去してほしい。
男性	30～39 歳	住民税が高い、固定資産税も高い。地元からの公務員採用を望んでいます。
女性	50～59 歳	数は少なくとも、弱い立場にある人のために、公共の力を尽くしてほしいです。市民でもできることは分担して、温かい人間関係を保つまちづくりをしていけたら良いと考えます。たくさんの人の意見を丁寧に聞いてください。

男性	30～39 歳	昔の考えのままでまちづくりをしないでほしい、地域にできること、行政は行うこと、市民として行うことをきちんと分けて計画してほしい。まちの魅力と活性を行政と 30～40 代市民討論会ででもしてほしい。
男性	60～69 歳	行政と市民の出来る事やるべき事をやり、お互いやりきれる環境づくりで明るく元気で楽しいまちづくりを。
男性	50～59 歳	行政関係の役所でのいろいろな手続き等を、ぜひとも土日祝祭日にも出来るようにしてほしい。手当とかは抜きにしてあくまでも市民の立場になってやってほしい。もっと市民にサービスを。
男性	29 歳以下	市税収入の使途を改善すべきと感じる。ハコモノ（チューリップ公園等）に投資しすぎ。もう少し市民生活のためになる駅前整備や市民生活向上に対して使うべき。税金は無限ではなく、民間の発想を求めます。今のような感覚では砺波地区を引っ張れません。
女性	40～49 歳	問 17 で「行政サービスの水準を維持する」とありますが、向上を図ることが必要。特に、県外や市外から移ってきた人にとって情報がとてもわかりにくい。関東にも関西にも住んだことはあるが、県外の行政サービスは誰にでも分かりやすいものであった。
女性	60～69 歳	私たちは、住みやすさや安全・安心なまちづくりを願っていますが、要望する行政改革を進めるには、十分な市の財政が必要になり、財政状況を考慮し、優先順位をつける必要性があります。そのためには要望をよく聞いて頂くことも重要です。市民の協力や市民参画型の行政改革を今以上に進める必要性があります。また、市民ボランティアの育成と活用が必要と思います。
女性	40～49 歳	全国の住み良さランキングでトップ 10 に入ったことはとても嬉しく思いました。行政の方々の努力あってのことと感謝します。市報などで目に通しますが、この質問を答えるに当たり、わからないことが多くありました。私だけではないと思いますので、砺波市についてもっとわかりやすくしていただければと思います。
男性	29 歳以下	スマホの砺波市アプリの提案です。内容は砺波市の広報情報や月ごとのイベント告知など。スマホアプリなので若年層が情報を得やすい。広報誌だけよりも多くの市民が見る可能性が高くなり、イベント、祭りの参加人数の増加など市への関心が高まる。
男性	60～69 歳	目先の事にとらわれず、市のあるべき姿を明確にして、それに向かって進む計画をすべきだと思う。
男性	30～39 歳	砺波広域圏エリアとする、地域活性化。人口減少対策をすることが大切である。また市は危機意識とスピード感をもって行政執行に取り組んでほしい。
女性	60～69 歳	市職員を削減して地域住民との賃金格差を是正し、その分のお金で子どもを育て増やし、企業を誘致することを考えて下さい。若い人の出会いの場を増やしてほしい。結婚できない人が多い。
女性	30～39 歳	なんでもかんでもお金に困ったら税金に頼るのは本当にやめてほしい。住民税もすぐたくさんとられているが、何の見返りも感じない。公務員の給料、ボーナスを減らしてそのお金で市を良くしたらどうか。
男性	60～69 歳	議員数を減らす。農業委員の選挙人員名簿を毎年更新しない。
男性	70 歳以上	現状、地域代表的な市議会議員が多く、現職者を半分もしくはそれ以下に減らし、地域振興会長、巡視議会議員として市議会にも出席。老人クラブ経験から見て市社会福祉協会と市社会福祉課で同じような要請がある。同様のことが市行政と外部関連団体の間であるのではないかと、見直しによる行政スリム化の余地があるのではないかと。
男性	60～69 歳	今回の調査に疑問を抱きます。人口は地域のマテリアルで活力、勢力、糧である。砺波市は上目線で住民サービスの認識が低い。ブランドに弱く肩書きに依存している。もっと住民に耳を傾け、アイデアやオピニオンメッセージをとり、親密なスタンスにたった提案をすべき。創造力、能力のない行政は、地方中核都市として資質に欠ける。今後、行政サービスはヒューマニズムを大事にしてほしい。
女性	60～69 歳	市民の意見も聞き、住み良いまちづくりに力を注いでほしい。
女性	40～49 歳	会議室で頭でっかちになって話し合うと良い案はでてこない。もっと身近な市民の集まる場所へ出かけて行って生の声を聞く。アンケートばかりに頼らない。アピールが薄い。いまだにチューリップが有名なのはハウステンボスでしょと言われる。子育て関係の取り組みもあと一歩ほしいところである。全てにおいて保守的で、良くしたいならもっと大きめにオーバーアクションすべきである。

男性	40～49 歳	アンケートの意味がわからない。必要性和記入回答への負担が大きく、この費用は無駄です。印刷郵便代、公務員への負担すべてをやめてほしい。
女性	30～39 歳	新砺波図書館、チューリップ公園一帯の整備に期待しています。永く愛される普遍的な施設を目指してほしい。施策の満足度と重要度を回答するアンケートなのに、施策の内容、具体的に自分が受けているどのサービスのことなのかがわからない。とても答えにくいアンケートでした。最後のPRすべきものは、特産品やイベントばかりで、それもとても重要と思いますが、地元の人がなんでもないとと思っているものほど魅力的なものですよ。
男性	50～59 歳	粗品をください。
男性	70 歳以上	問 11 は広範囲で抽象的で答え難い。もっと具体的に狭範囲であれば答えやすい。
女性	70 歳以上	市政が形式的に整えることばかりに見え、本当に親身に市民のために頑張っているように見えない。税金を取ることは一生懸命な一方、医療換金などは申告しなければ案内がない。総合病院の医者、事務方ともレベルが落ちる一方、特に事務職の怠慢はひどい。市職員としての出向だから腰かけか。老人を大事にしなければそれを見る若者が将来に希望が持てない。
女性	29 歳以下	これからも砺波市のためにがんばってください。おつかれさまです。
男性	60～69 歳	「散居村」というワードにとらわれすぎではないか。ベースのサービスがやられており、上滑り施策になりやすい。特に、生涯学習+健康センターなどは、行きやすい場所にまとめるべき（図書館は70年間砺波市が放っておいた）。市の賑わい活力の低下。
男性	70 歳以上	問 17 関連 ・下水道事業を公共下水道並みシステム施行のため、例えば「梅檀野」地区で25億円もの国費無駄遣いをやっている。 ・防災計画無点検のため20年間もの長期にわたり、皆無の同報無線が計画書に記載されてきている。当地への「Uターン」（平成2年）後、市当局への進言を重ねてきたが一片の感謝の言辞を受けたことがありませんね。国民保護法に基づく市の計画等要点記載の市民手帳を配布すべきではありませんか。
男性	70 歳以上	自民党中心の選挙ではなく新しい行政が少ない。地方自治体に活力をつけるため、市県議の積極的な参加をして、良い政治にしてほしい
男性	70 歳以上	市役所に勤務していたら、砺波市で買い物すべし。砺波市税収で給与をちょうだいしている現状ではないでしょうか。砺波市の発展を考えるなら砺波市民が砺波市で買い物すべきではないか。若い人たちは金沢や富山へ車で買い物に走っているのではないのでしょうか。

■その他

女性	29 歳以下	住んで間もないのでまだわかりません
女性	70 歳以上	良き市民でありたいと思っています。
女性	70 歳以上	砺波市の発展をお願いします
女性	70 歳以上	高齢につき、回答不能
女性	70 歳以上	超高齢者です。色々判断しかねますが、よろしくをお願いします。
女性	70 歳以上	アンケート対象が高齢者のため、未来について判断しにくい。
男性	40～49 歳	老人いない。
女性	70 歳以上	77 才です。ゆっくり過ごしていけたら良いです。でもできるボランティアは少ししています。
女性	70 歳以上	砺波地方の人は自分の事しか思っていない。

14 施策の満足度と重要度

【満足度・重要度の集計について】

各分野にわたる市の施策などに関する項目ごとの満足度と重要度は以下に示す方法で点数化します。

1. 満足度

満足:2点、やや満足:1点、普通:0点、やや不満:-1点、不満:-2点とし、項目ごとの回答結果を(「満足」×2点+「やや満足」×1点+「普通」×0点+「やや不満」×-1点+「不満」×-2点)÷(回答者数)として算出(「わからない」、無回答は除く)。

2. 重要度

重要である:2点、やや重要である:1点、普通:0点、あまり重要ではない:-1点、重要ではない:-2点とし、項目ごとの回答結果を(「重要である」×2点+「やや重要である」×1点+「普通」×0点+「あまり重要ではない」×-1点+「重要ではない」×-2点)÷(回答者数)として算出(「わからない」、無回答は除く)。

【満足度と重要度の相関図による分析】

満足度と重要度それぞれの点数をもとに、縦軸に重要度、横軸に満足度を設定し、32施策を散布図上に示したものが相関図である。

<p>施策タイプⅠ 今後の重要度が高いが、現在の満足度が低いため、 「力を入れて取り組むべき項目」</p>	<p>施策タイプⅡ 今後の重要度が高いが、現在の満足度も高いため、 「現状維持を図るべき項目」</p>
<p>現在の満足度が低いが、今後の重要度も低いため、 「状況に応じて取り組むべき項目」 施策タイプⅢ</p>	<p>現在の満足度が高く、今後の重要度は低いため、 「力を入れる必要性が低い項目」 施策タイプⅣ</p>

※満足度・重要度の相関図において、各項目は下表の「略表記」に従い、表記しています。

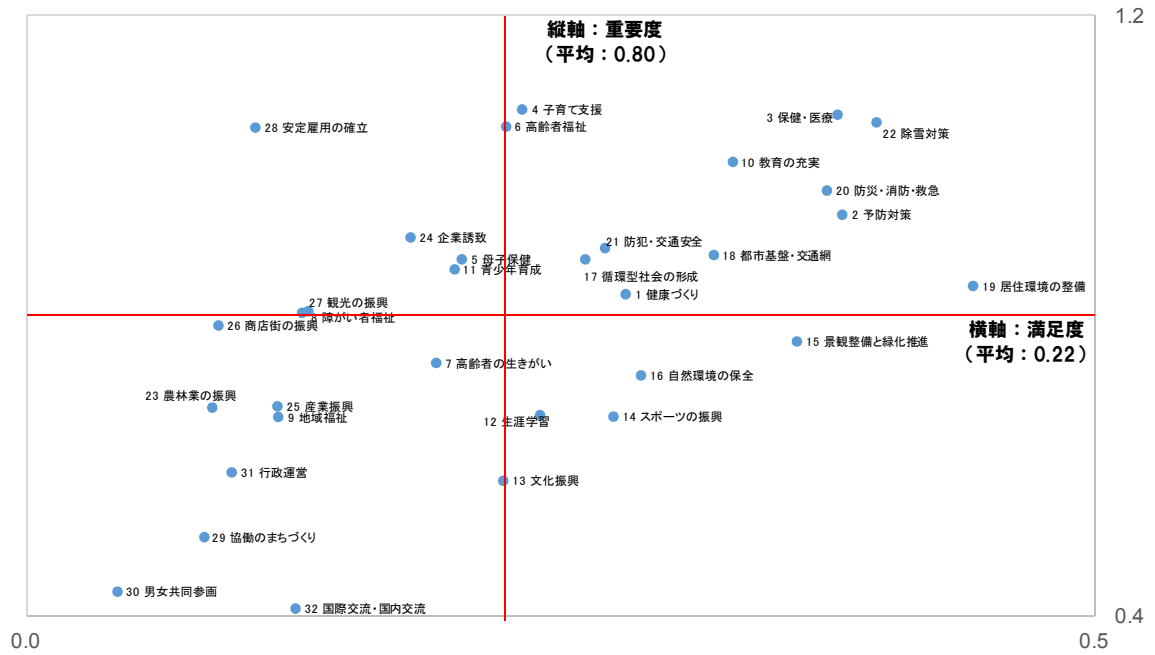
【略記対応表】

項目	略表記
1 健康づくりの推進	1 健康づくり
2 予防対策の充実	2 予防対策
3 地域保健・医療の充実	3 保健・医療
4 子育て支援・子育て施設の充実	4 子育て支援
5 親と子が健やかに暮らせる環境づくり	5 母子保健
6 高齢者福祉の充実	6 高齢者福祉
7 高齢者の生きがいの充実	7 高齢者の生きがい
8 障がい者(児)福祉の充実	8 障がい者福祉
9 みんなで支えあう福祉活動の推進	9 地域福祉
10 教育の充実	10 教育の充実
11 活力ある健全な青少年の育成	11 青少年育成
12 生涯学習の推進	12 生涯学習
13 芸術文化の振興と伝統文化の継承	13 文化振興
14 スポーツの振興	14 スポーツの振興
15 景観の整備と緑化の推進	15 景観整備と緑化推進
16 自然環境の保全	16 自然環境の保全
17 循環型社会の形成	17 循環型社会の形成
18 都市基盤・交通網の整備	18 都市基盤・交通網
19 快適な居住環境の整備	19 居住環境の整備
20 地域防災・消防・救急体制の整備	20 防災・消防・救急
21 防犯体制の充実と交通安全の推進	21 防犯・交通安全
22 除雪対策の推進	22 除雪対策
23 農林業の振興	23 農林業の振興
24 企業誘致の推進	24 企業誘致
25 既存産業への支援・伝統産業の振興	25 産業振興
26 にぎわいと魅力ある商店街の振興	26 商店街の振興
27 観光の振興	27 観光の振興
28 安定した魅力ある雇用環境の確立	28 安定雇用の確立
29 市民と協働のまちづくりの推進	29 協働のまちづくり
30 男女共同参画社会の推進	30 男女共同参画
31 持続可能な行政の運営	31 行政運営
32 国際交流・国内交流の推進	32 国際交流・国内交流

(1) 男女別

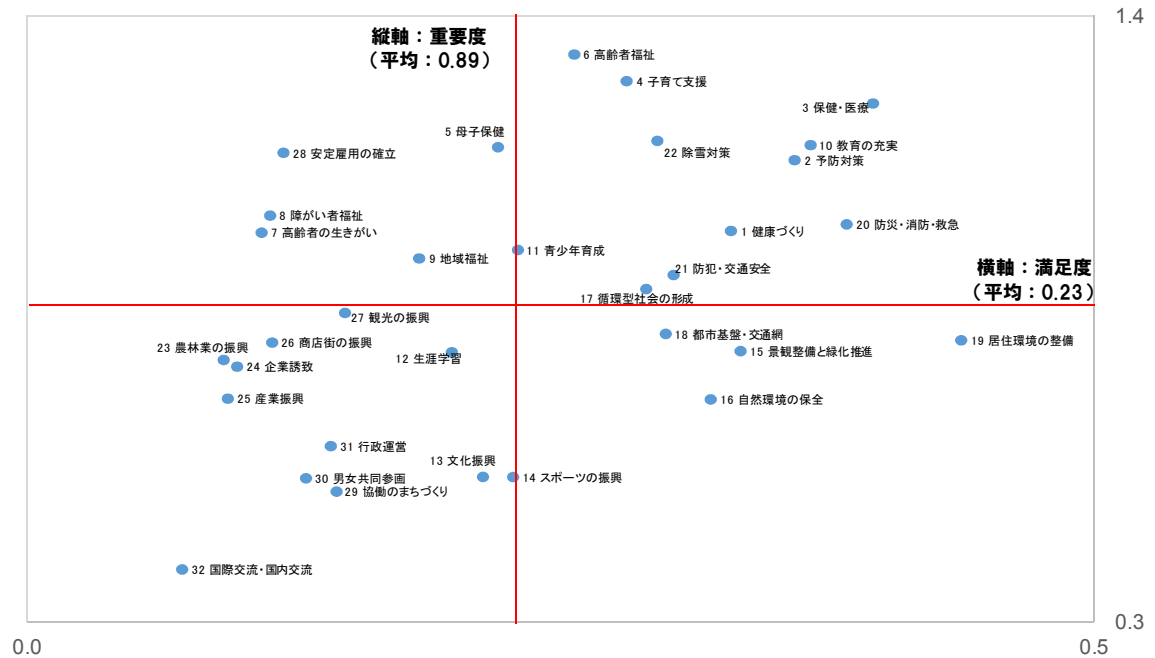
①男性

女性と比べ、「企業誘致の推進」の満足度が低く、重要度が高くなっている。



②女性

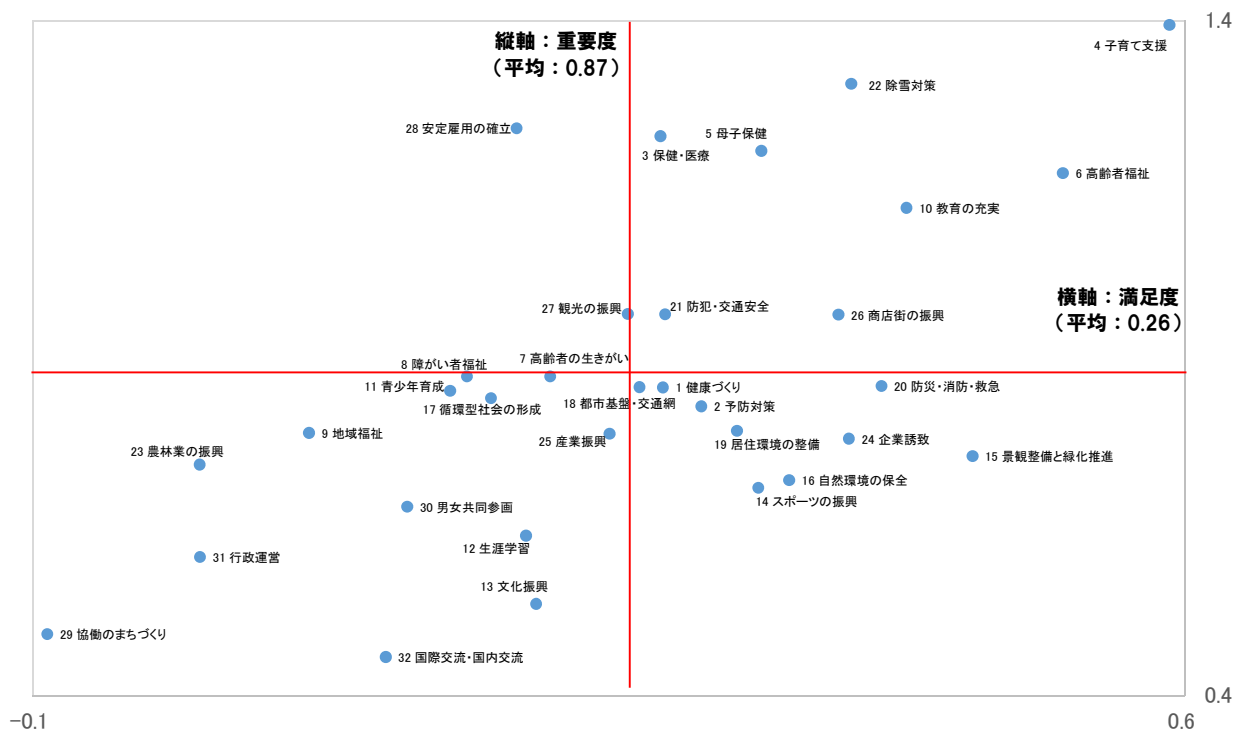
男性と比べ、「障がい者（児）福祉の充実」や「高齢者の生きがいの充実」、「みんなで支えあう福祉活動の推進」の満足度が低く、重要度が高くなっている。



(2) 年代別

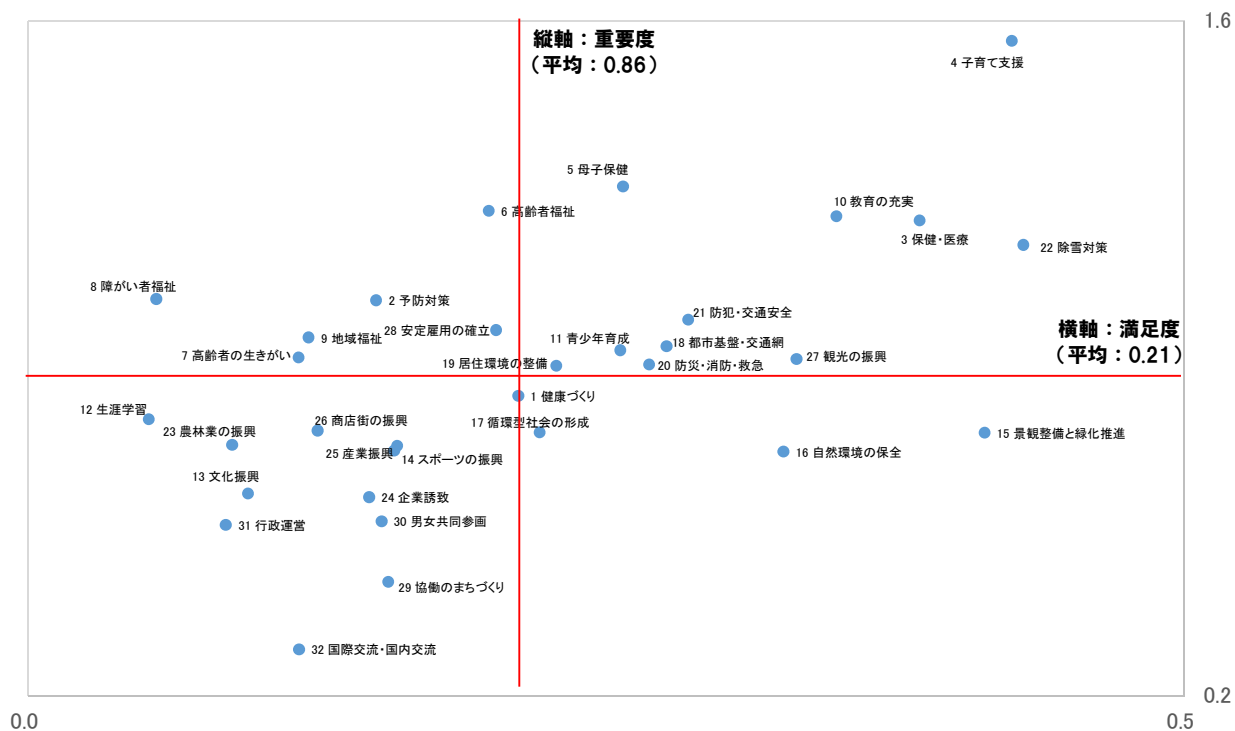
①29 歳以下

全体と比べ、「子育て支援・子育て施設の充実」、「除雪対策の推進」、「にぎわいと魅力ある商店街の振興」の重要度が高くなっている。



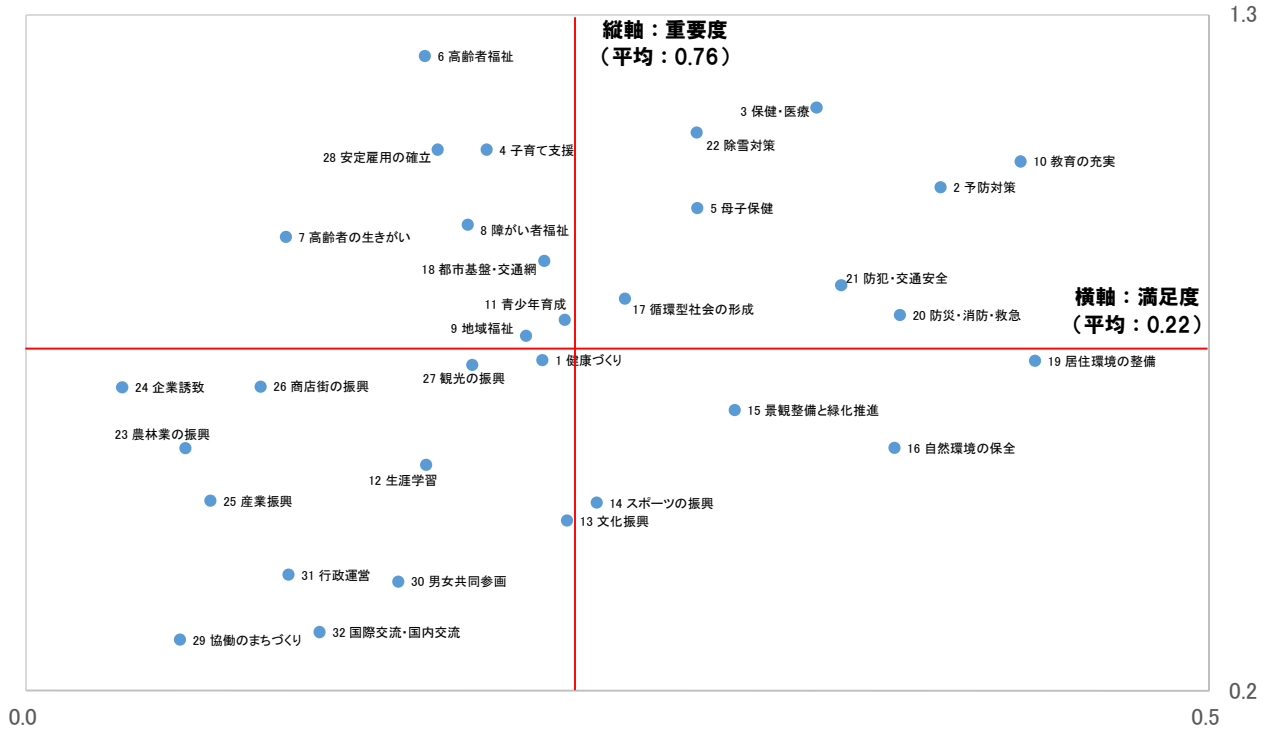
②30 歳代

全体と比べ、「子育て支援・子育て施設の充実」や「親と子が健やかに暮らせる環境づくり」の重要度が高くなっている。



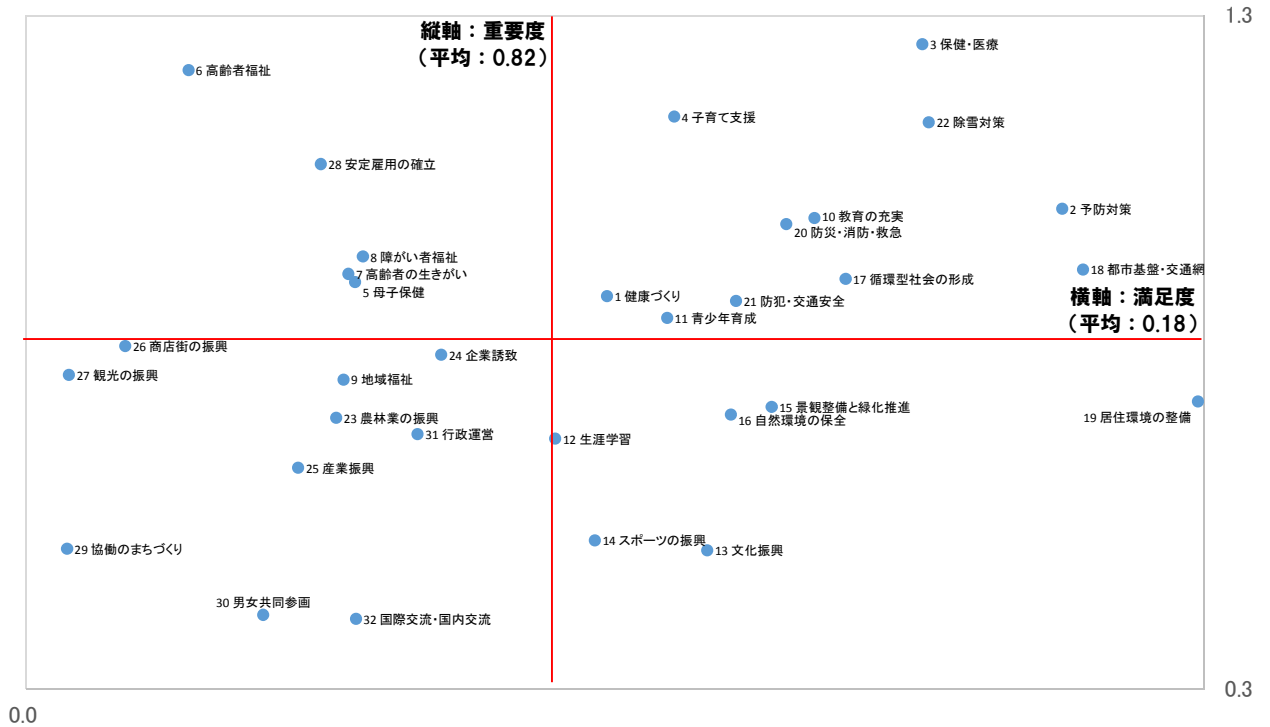
③40 歳代

全体と比べ、「高齢者福祉の充実」や「高齢者の生きがいの充実」、「都市基盤・交通網の整備」の重要度が高くなっている。



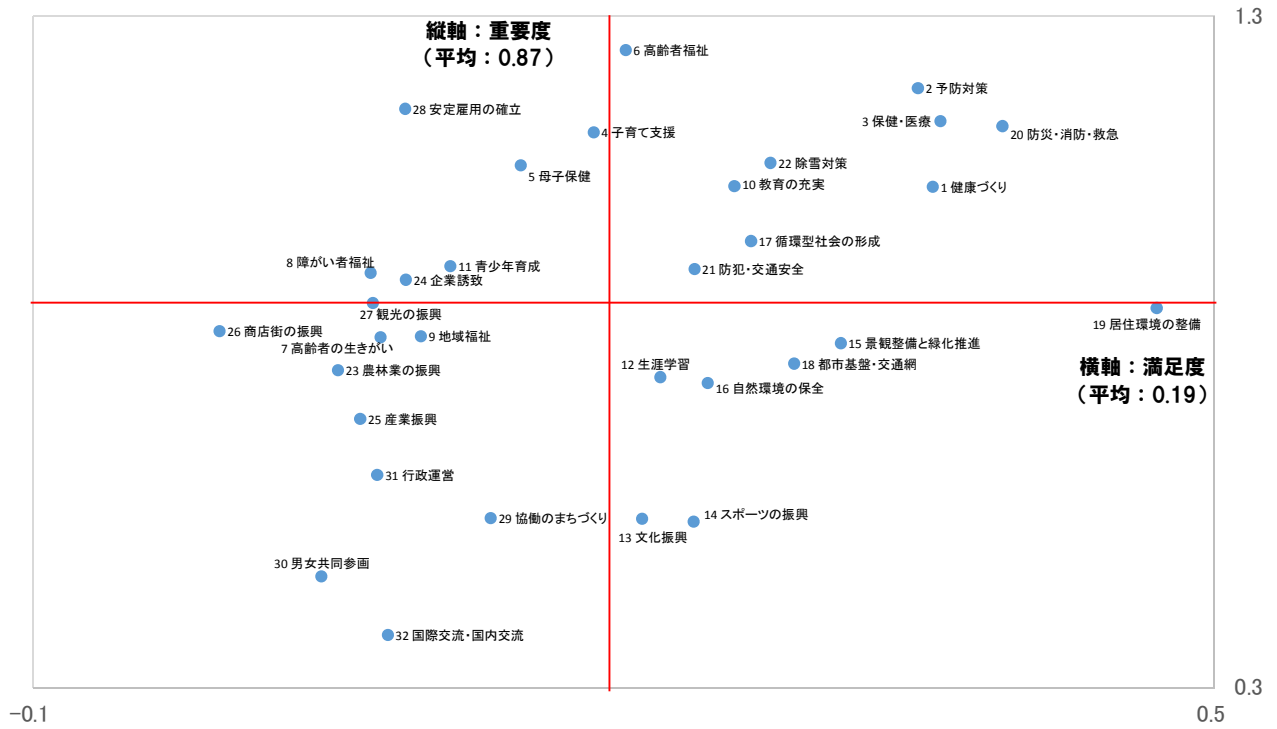
④50 歳代

全体と比較すると、「地域保健・医療の充実」や「都市基盤・交通網の整備」の重要度が高くなっている。



⑤60 歳代

全体と比較すると、「健康づくりの推進」や「予防対策の充実」、「地域防災・消防・救急体制の整備」の重要度が高くなっている。



⑥70 歳代以上

全体と比較すると、「企業誘致の推進」、「活力ある健全な青少年の育成」の重要度が高くなっている。

